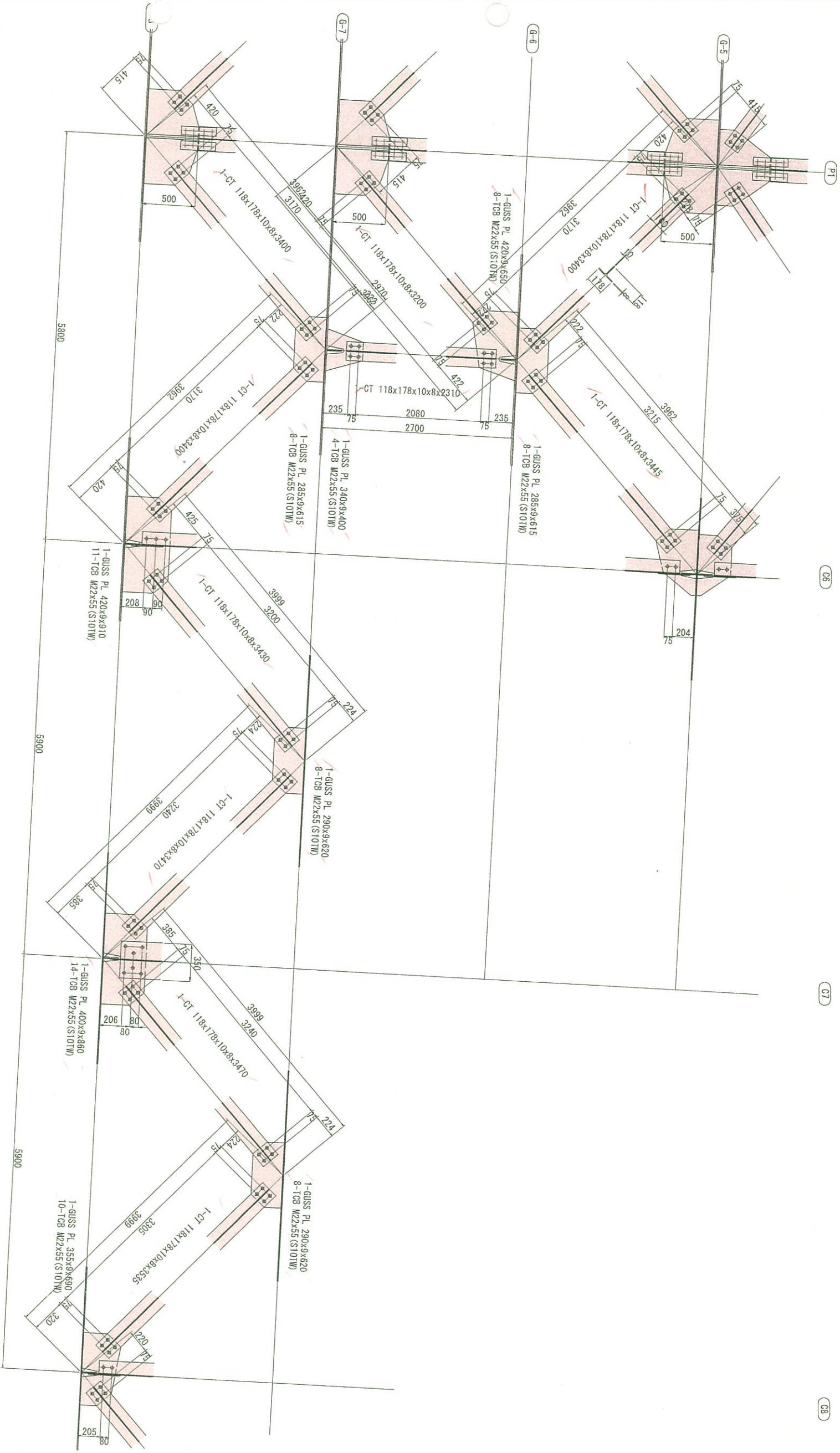
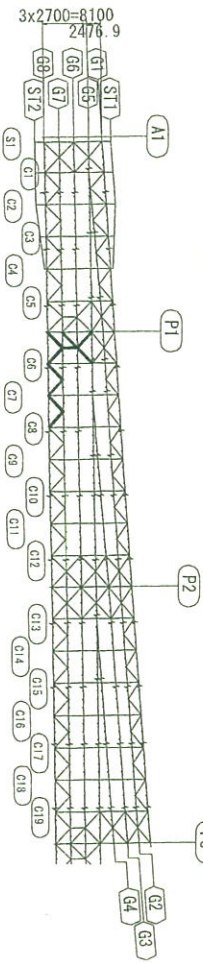


横構(その5)

S=1:20, 1:30



配置図

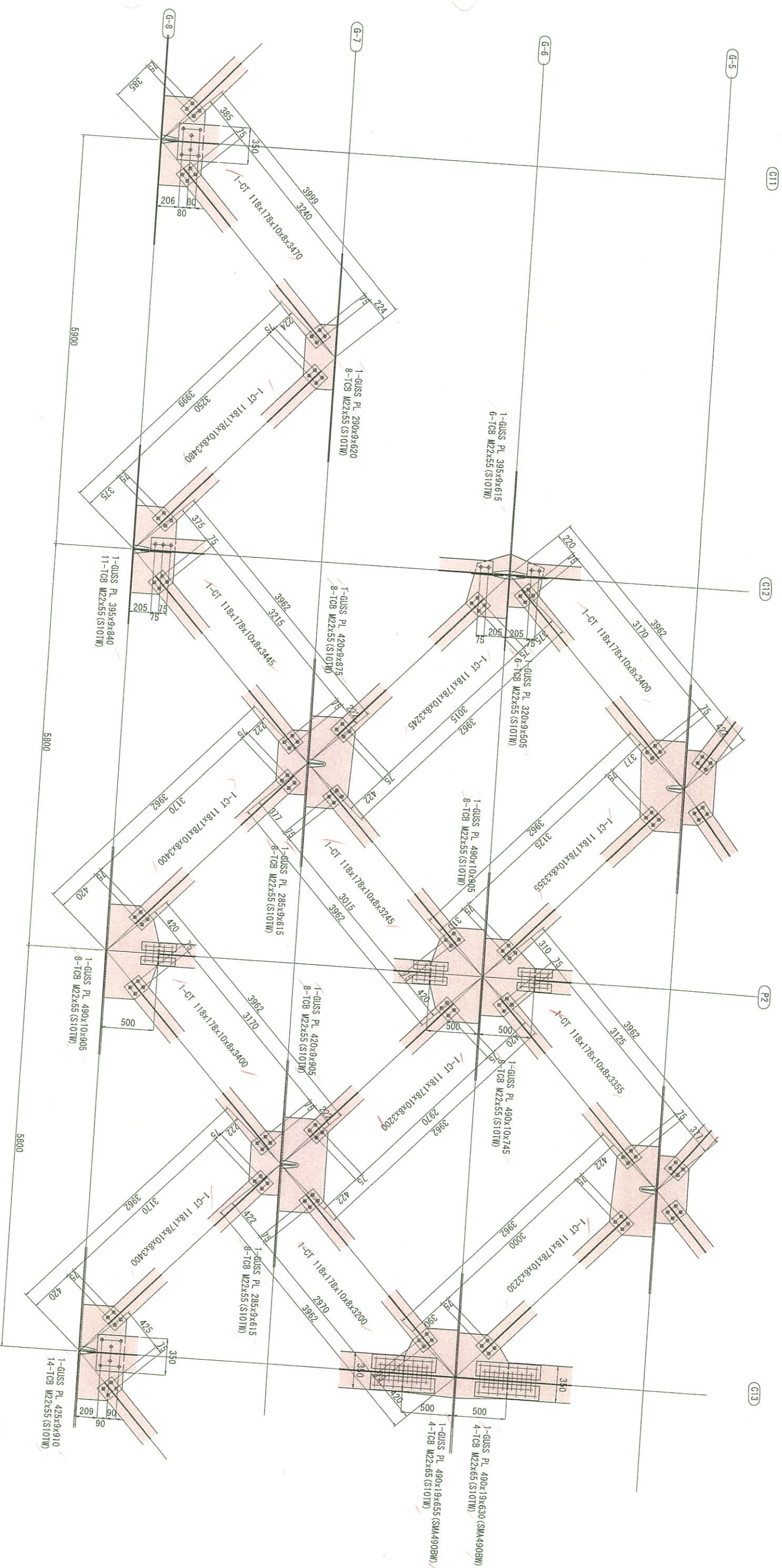


注記
1. 特記なき材質は全てSMA400NWとする。
2. 寸印は、TCB, M22 (S10TW) を示す。

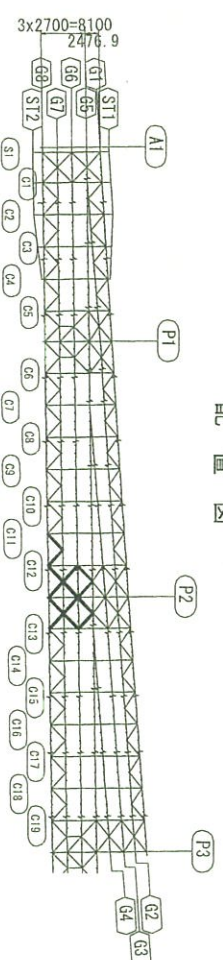
実施設計

平成 31年度 工事番号	第19-41320-0047号
計画年度	19年度
設計者	小野新井建設
監理者	小野新井建設
建設種別	道路橋(河川)工事(橋梁上部)
橋名	橋名(その5)
図示	図面番号
216 / 419	
設計	設計者
小野新井建設	
監理	監理者
小野新井建設	

横構(その8)

$$S=1:20, 1:30$$


四
同
因

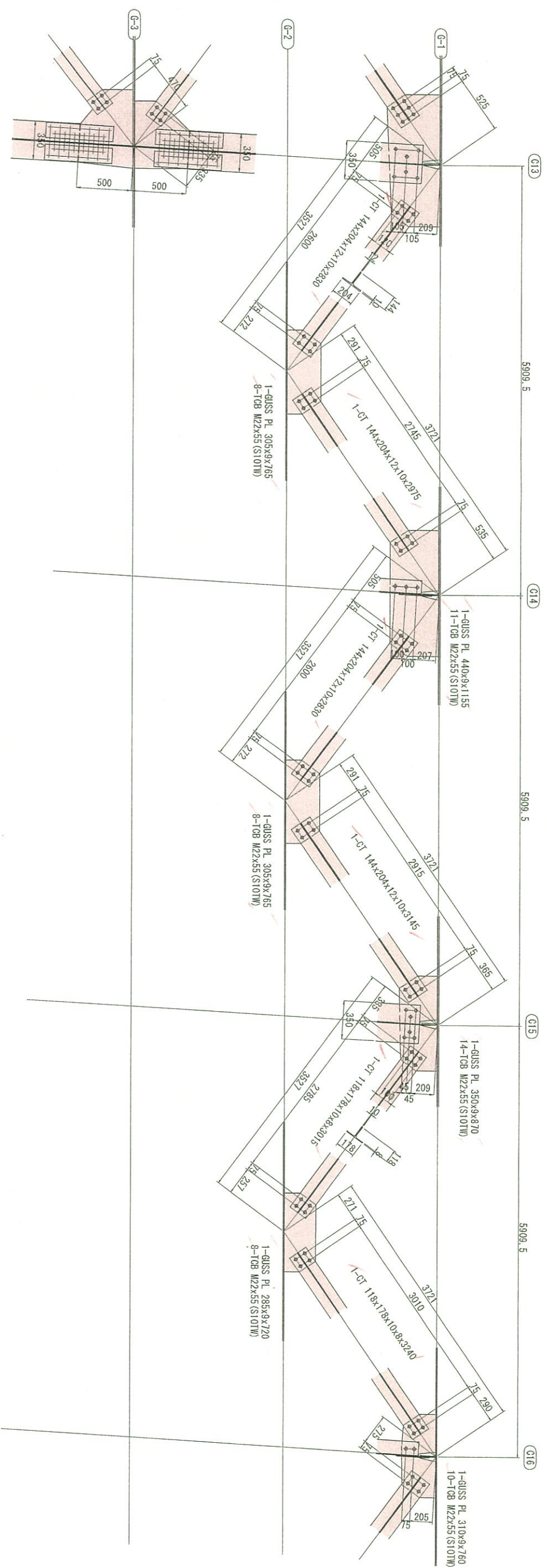


2. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。

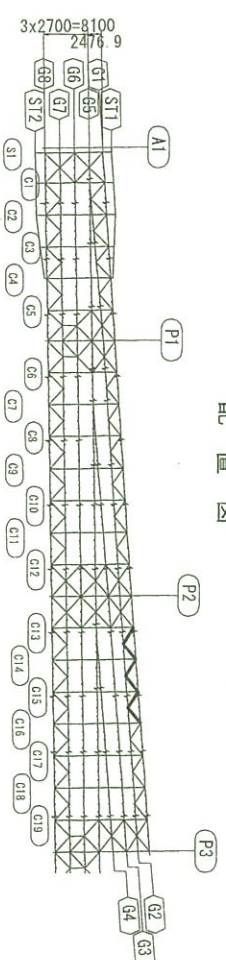
実施設計

平成 31 年度 工事番号 第19-41320-0047号			
新田田舎役 住 民	田村 住 民	小野 住 民	小野新町地区内 住 民
道路幅よりょう整備(再建)工事(橋梁上部)			
橋脚(その8)			
橋 尺	図 示	図面番号	278 / 499
測量		年 月 日	重 正 比 尺
設計	株式会社 建設技術研究所		管 理 比 尺
			青井啓明
福島県県中建設事務所			

横構(その9)

$$S=1:20, 1:30$$


忌
相
火



施設設計

平成 31年度 工事番号 第19-41320-0047号			
沼田地区役 所	① 沼田 町 ② 小寺 町 ③ 小寺新町地区	④ 小寺新町地区	⑤ 小寺新町地区
道沿地より上り登壇(西側)工事(橋梁上部)			
橋樑(その9)			
橋尺	四 示	図面番号	220 / 419
照壁		年 月 日	正 在 中 比 照 表
設計	株式会社 建設技術研究所	監 理	青井裕昭

福島県 県中建設事務所

横構(その10)

$S=1:20, 1:30$

C14

615

(C16)

(C16)

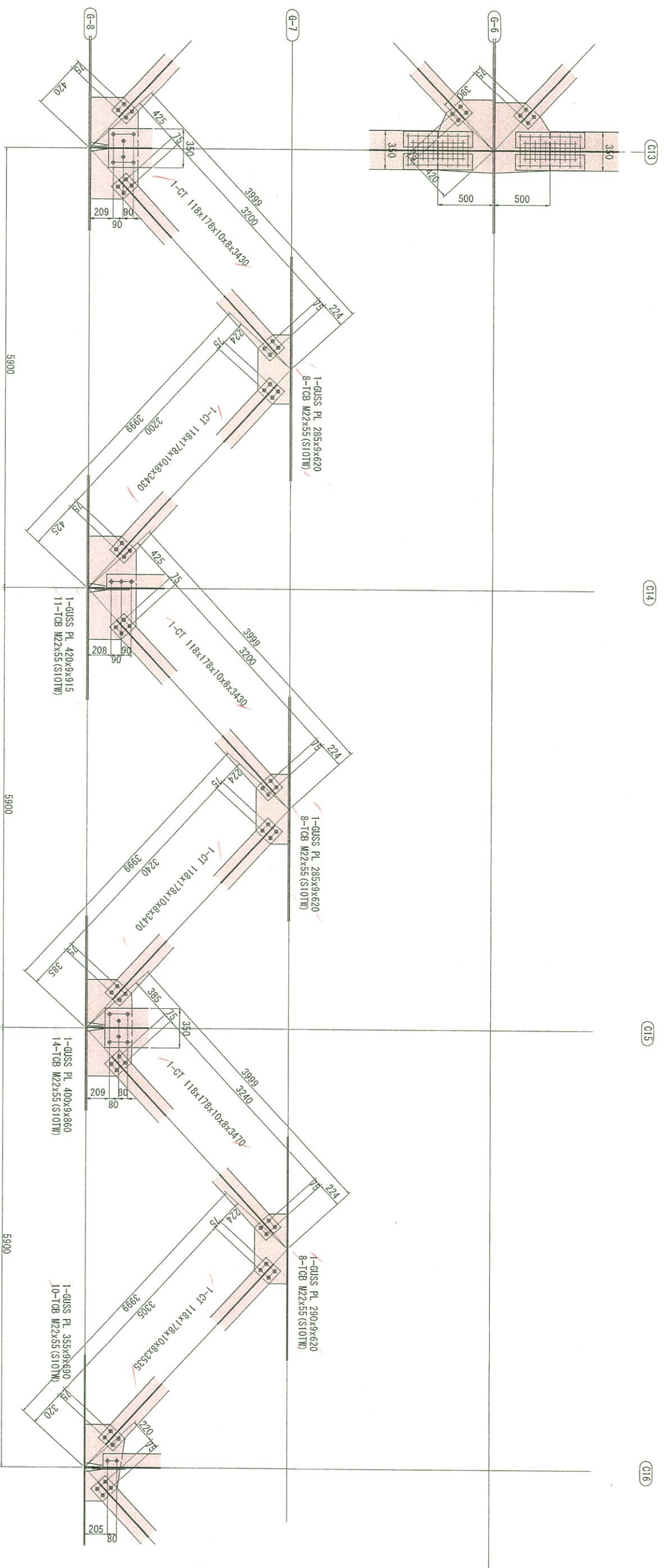
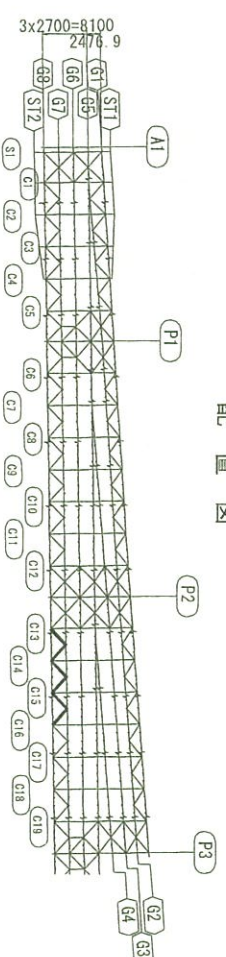


圖 圖 圖



實施設計

注記

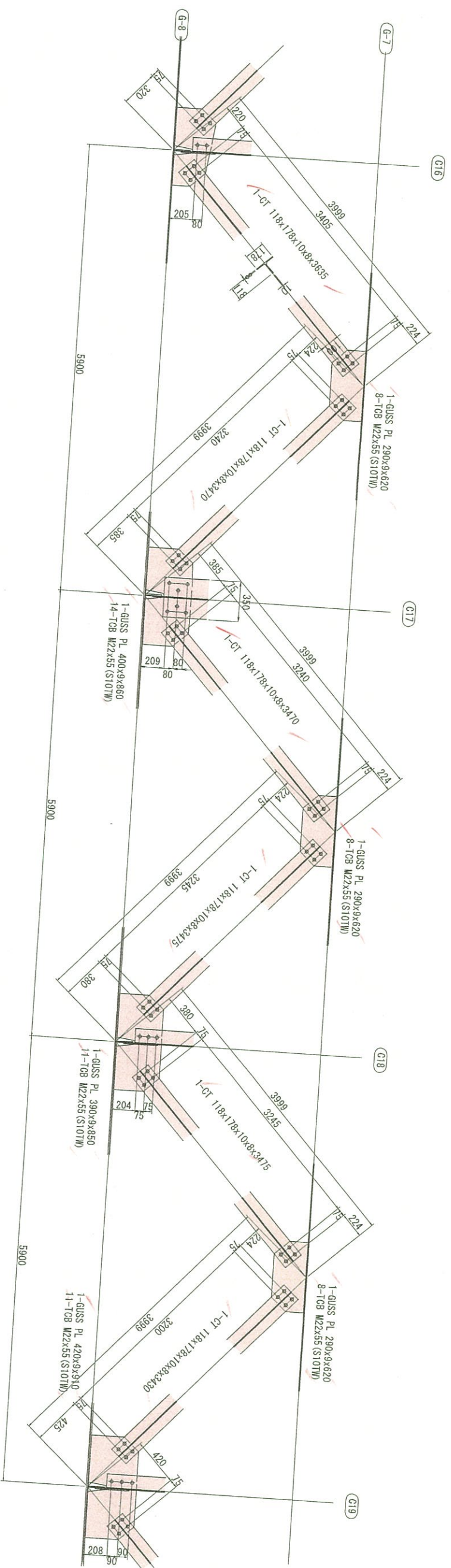
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. ϕ 印は、TCB、M22 (S10TW) を示す。

平成 31年度 工事番号 第19-A-320-0047号			
新田田代集 庄	田村 市	小野 町	小野新町地区 住宅中心
道路橋りょう整備(河川)工事(橋梁上部)			
標榜(その10)			
橋尺	図 示	図面番号	201 / 499
測量		年月 日	主任 技師
設計	株式会社 建設技術研究所	管理 技師	青井祐樹

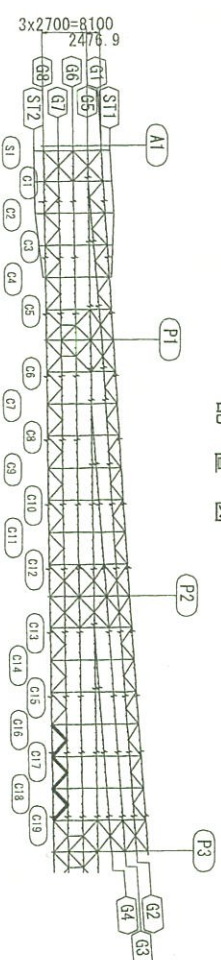
福島県 県中建設事務所

横構(その12)

S=1:20, 1:30



世嗣圖



実施設計

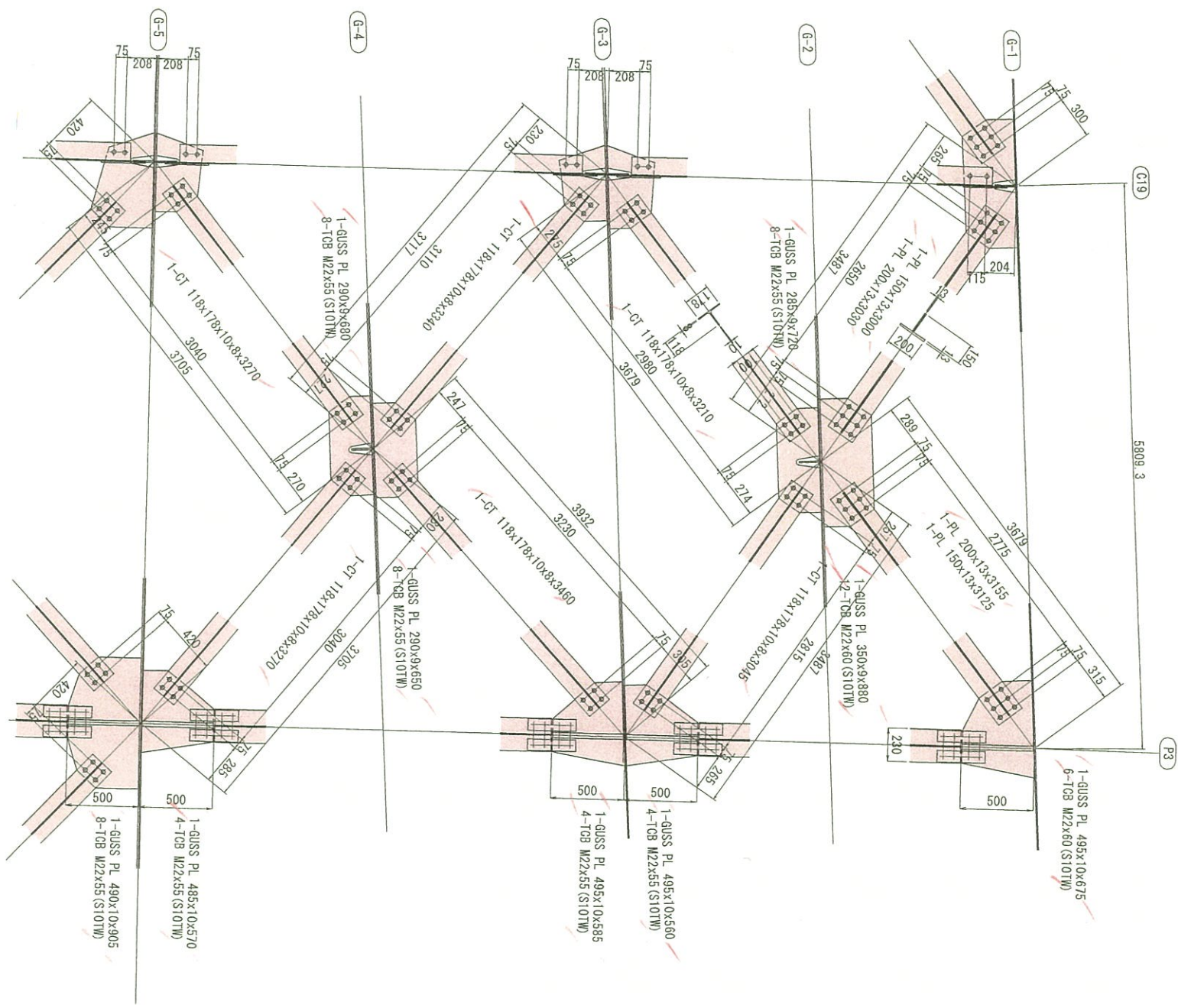
注記

1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. ϕ 印は、TCB、M22 (S10TW) を示す。

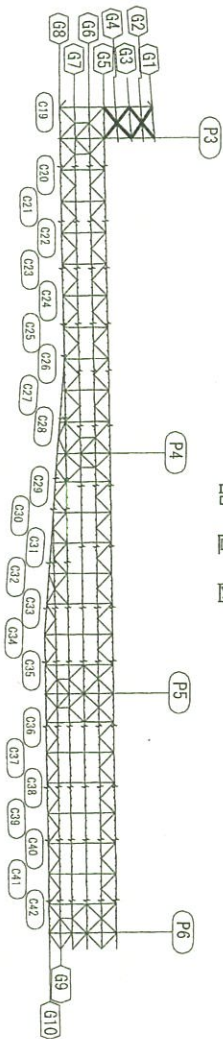
平成 31年度 工事番号 第18-41320-0047号	
吉田田代電 係	田村 豊 小野 比佐子 小野井裕典
建設機りよう整備(修繕)工区(橋梁工部)	
標機(その12)	
橋尺	図 示
用途	年度 月 日
検査会社	主 査
建設技術研究所	監 査
設計	技 術 者
福島県 県中建設事務所	青井浩昭

横構(その13)

S=1:20, 1:30



配置図



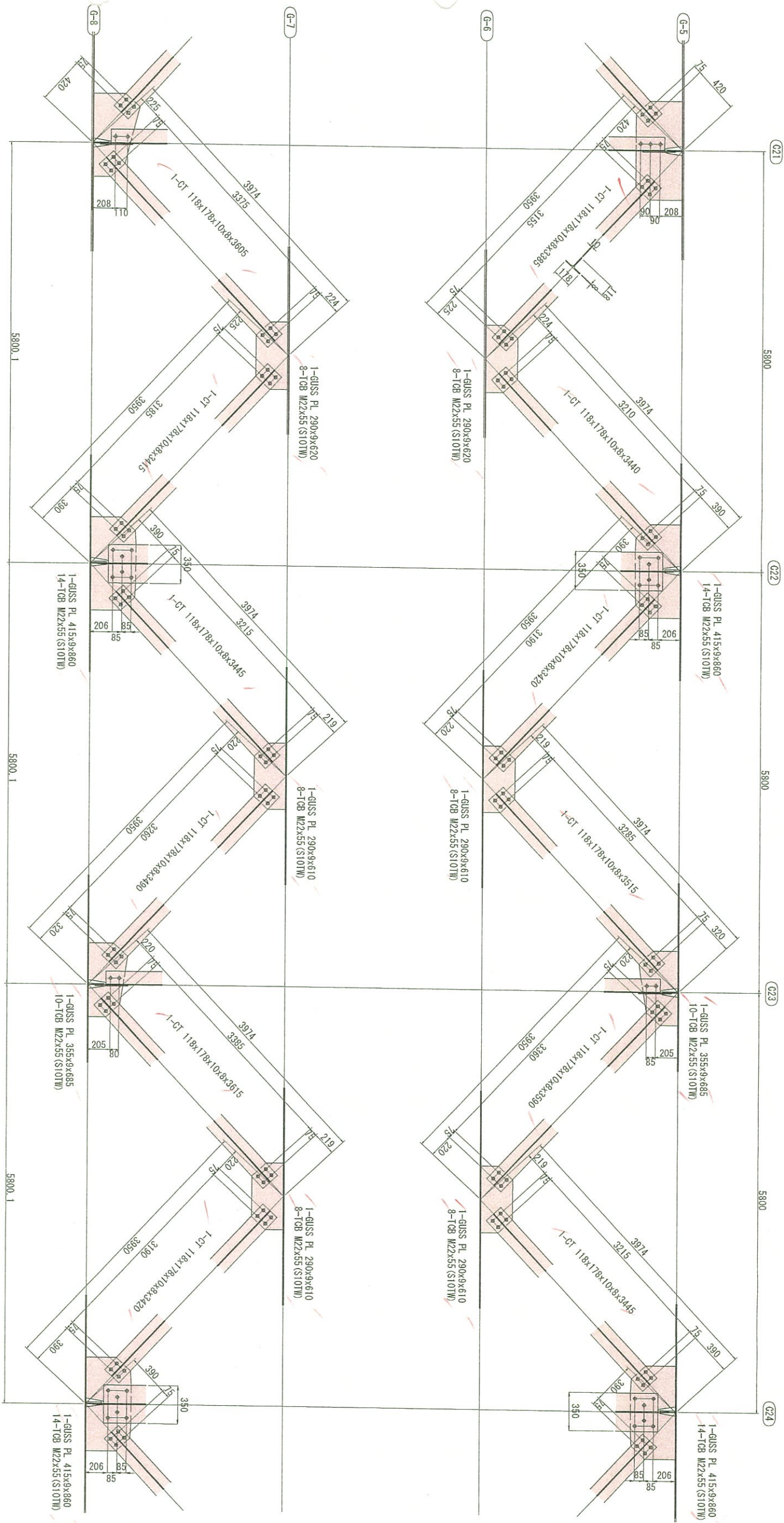
注記
1. 特記なき材質は全てSM400Wとする。
2. +印は、TCB, M22 (S10TW) を示す。

実施設計

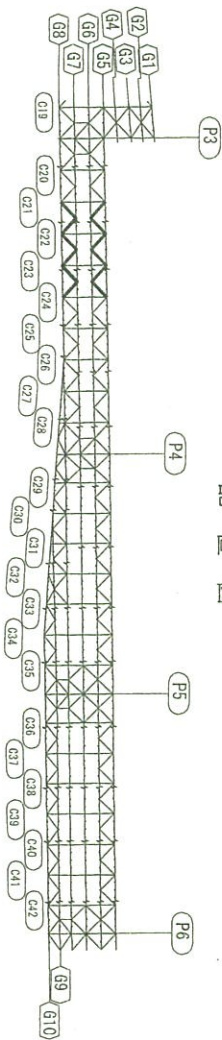
平成 31年度 工事番号 第19-41320-0047号	④ 田村 小野 小野新町橋内
道路橋りょう整備(河川)工事(橋梁上部)	
橋梁	国 示 図面番号 284 / 493
設計	株式会社 建設技術研究所 青井裕昭
福島県 県中建設事務所	

横構(その15)

S=1:20, 1:30



配置図

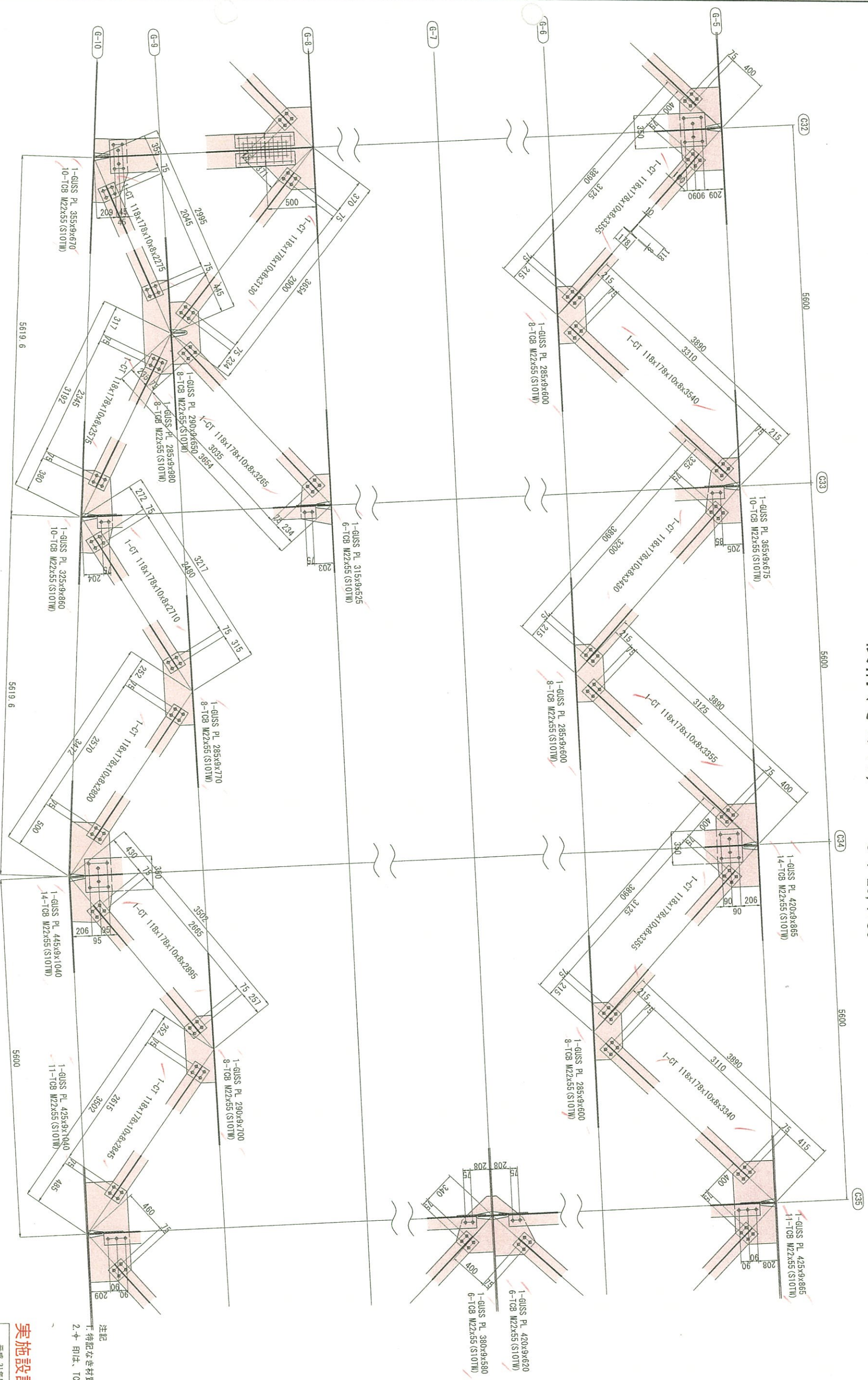


注記
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. 寸印は、TGB, M22 (S10TW) を示す。

実施設計

平成 31年度 工事番号 第19-4130-0047号	設計 田村 市 小野 市 小野 市
監理 株式会社 建設技術研究所	設計 建設技術研究所
橋尺 図示	橋尺 図示
断面 断面番号 266 / 449	断面 断面番号 266 / 449
設計 建設技術研究所	設計 建設技術研究所
福島県 県中建設事務所	福島県 県中建設事務所

横構(その19)

$$S=1:20, 1:30$$


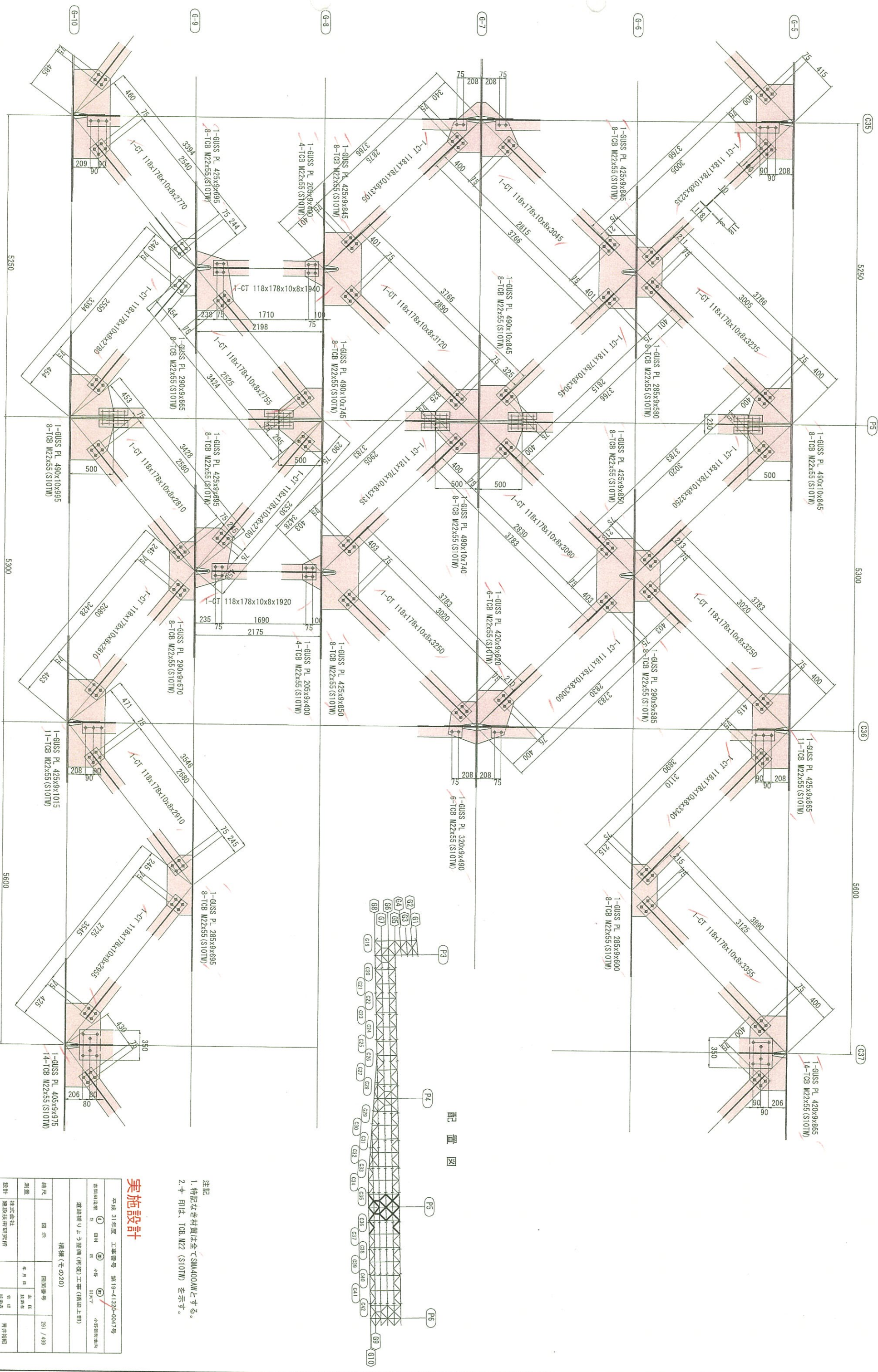
2. 特記なき材質は全てSMA400AMとする。

実施設計

平成 31年度 工事番号 第19-4-150-0047号			
青田地区建設 区	田村 町	小野 町	小野新田地区 町
道沿地より、よう整備(併設)工事(緑線上部)			
仕様(その19)			
橋尺	図 示	図面番号	200 / 469
承認	年月日	主任	佐田 浩
設計	設計会社 建設技術研究所	監理者	佐田 浩
		管理担当	青井裕昭

福島県 県中建設事務所

横構(その20)

 $S=1:20, 1:30$ 

实施設計

注記

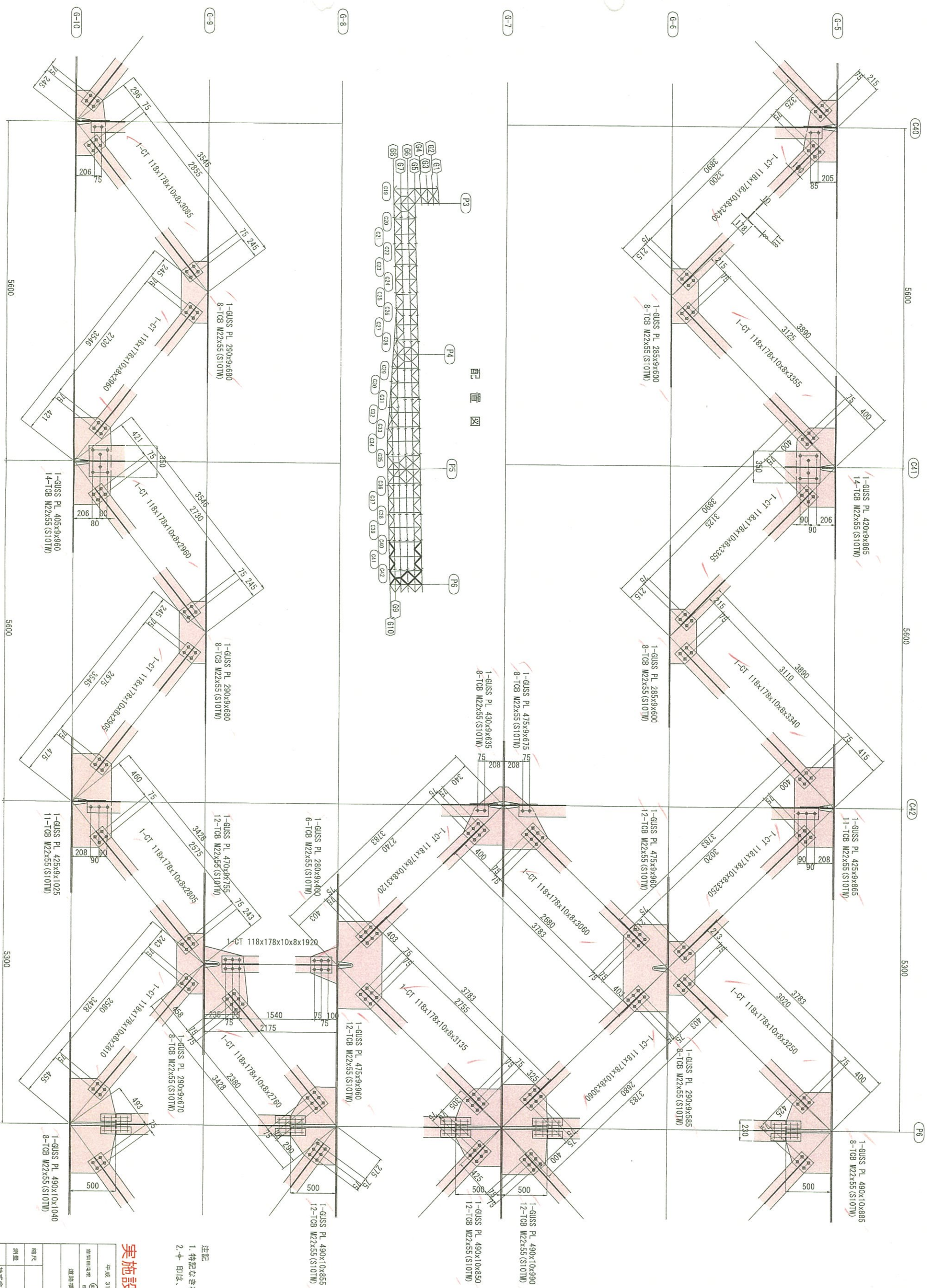
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. ϕ 印は、TCB.M22 (S10TW) を示す。

2.④印は、TCB.M22 (S10TW)を示す。

平成 31 年度 工事番号 第19-A1320-0047号			
世田谷区役所 所	① 田村 市	② 小野 市	③ 小野町役所 市役所
道路橋りょう整備(河川工事(橋梁上部))			
概算(その20)			
橋尺	図 示	図面番号	201 / 469
測量		年 月 日	主 査 監 査
設計 建設技術研究所	株式会社 建設技術研究所	年 紀	専 任 技 術 者
福島県 県 中建設事務所		青井昭昭	

横構(その22)

$S=1:20, 1:30$



2. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。

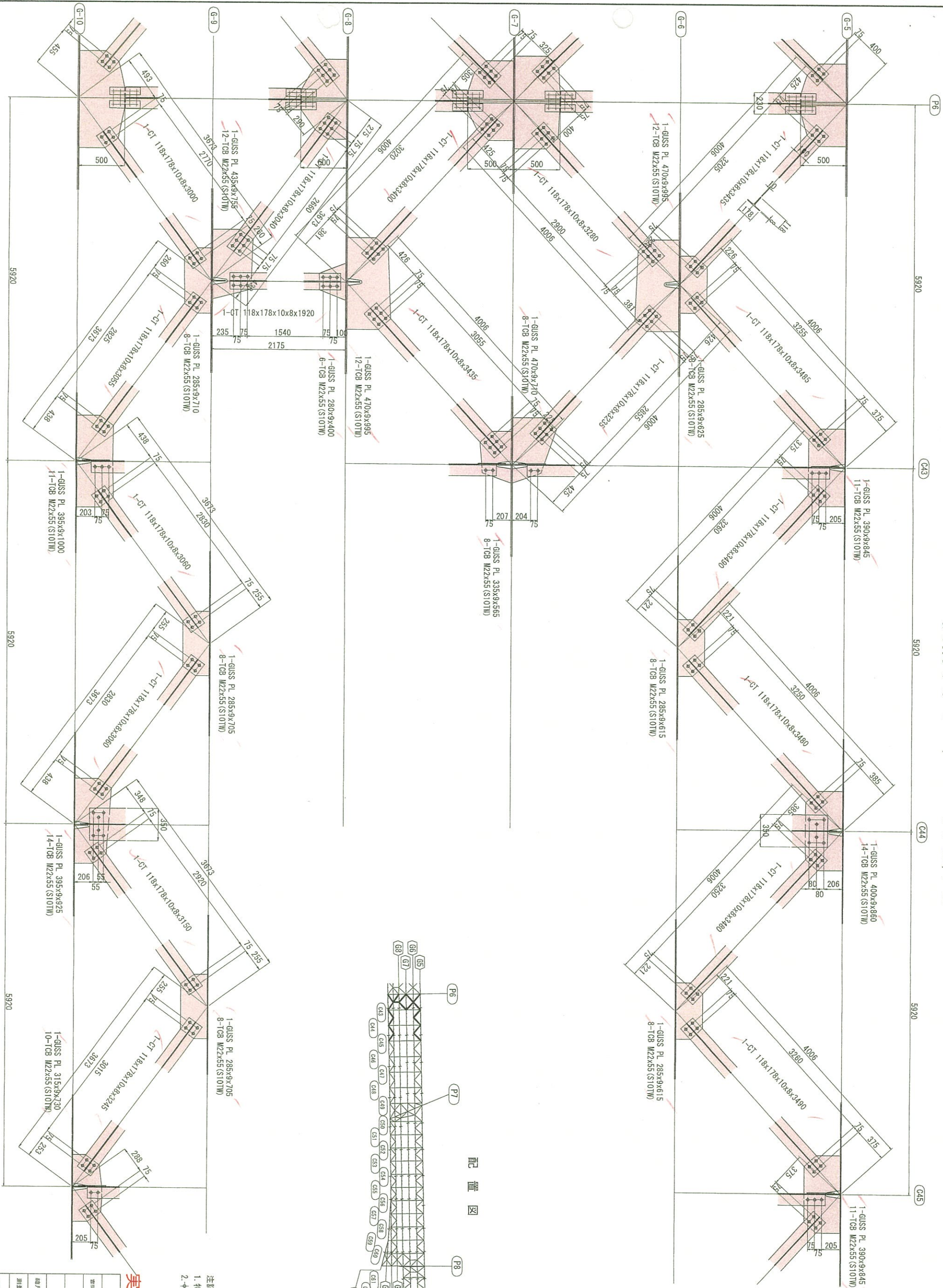
実施設計

平成 31 年度 工事番号 第 19-14320-0047号			
直間田次樹 住	田村 正 小野 桂次平	小野町町内所	
道沿地よりよう整備(河堤)工事(橋梁上部)			
機種(その22)			
幅尺	図示	図面番号	203 / 409
重量		年 月 日	住 住
株式会社 建設技術研究所		管理 技術員	青井裕昭

福島県 県中建設事務所

横構(その23)

$S=1:20, 1:30$



巳
 申
 酉

$$3 \times 2700.4 = 8101.1$$

注記

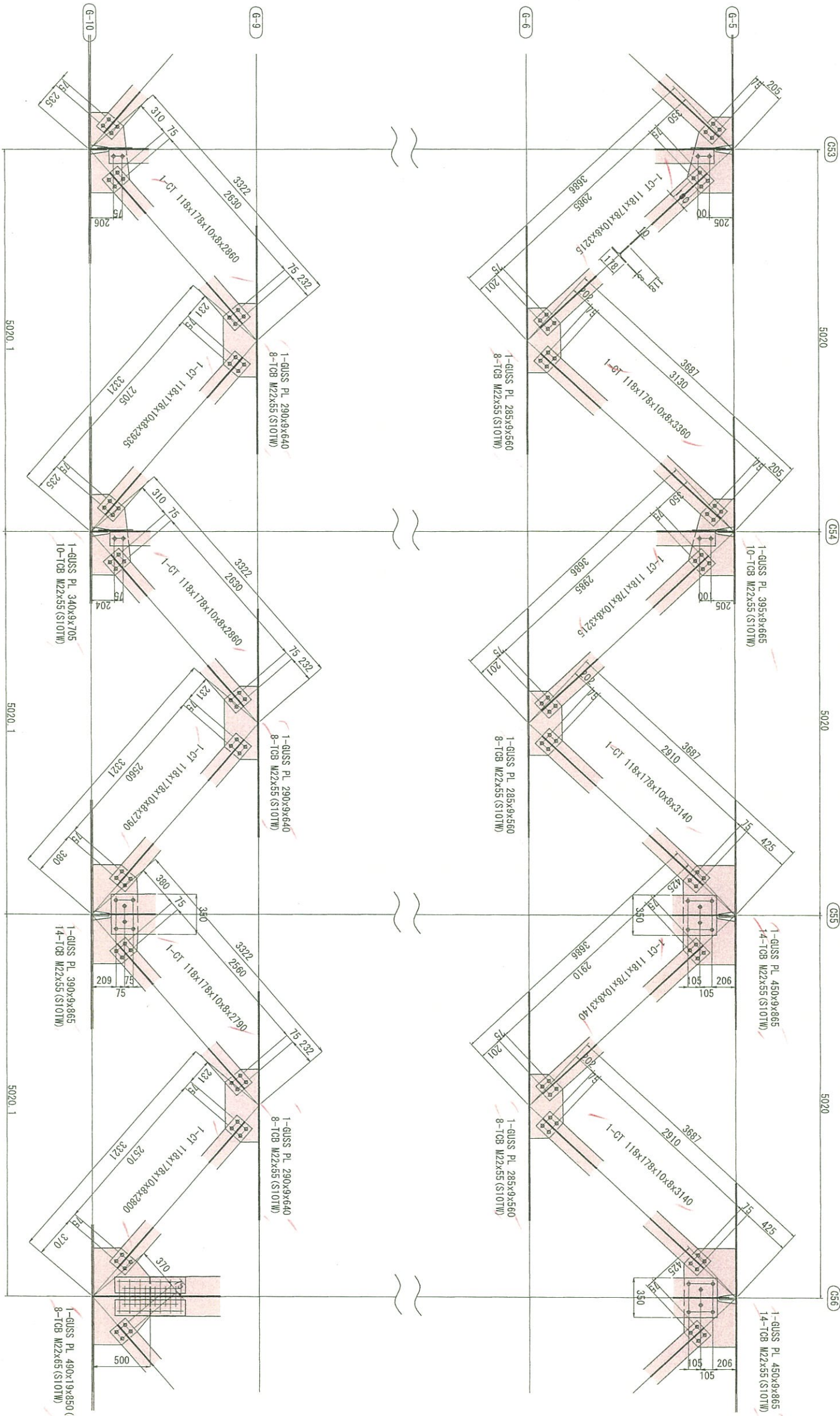
1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。

2. ϕ 印は、TCB、M22 (S10TW) を示す。

実施設計

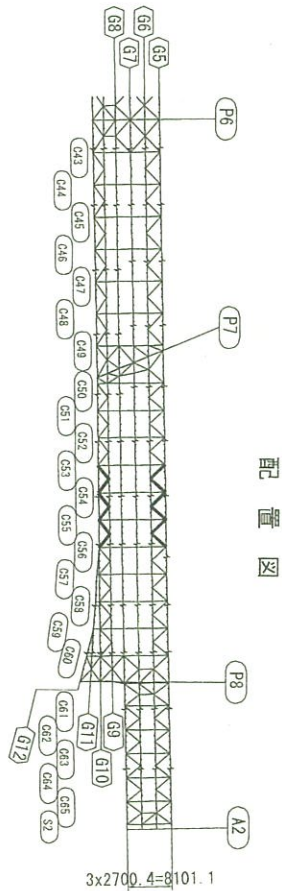
平成 31年度 工事番号 第19-4-1320-0047号			
富田田舎館 第 1 号	田 井 第 1 号	小 行 第 1 号	小笠原町地行
道路橋りょう整備(平橋)工事(橋上軌道)			
橋脚(その2/3)			
短尺	図 示	図面番号	294 / 455
新盤	年 月 日	主 任	
設計 株式会社 建設技術研究所	年 月 日	主任 技師	青井祐昭
福島県 県 中 建 設 事 務 所			

横構(その27) S=1:20, 1:30



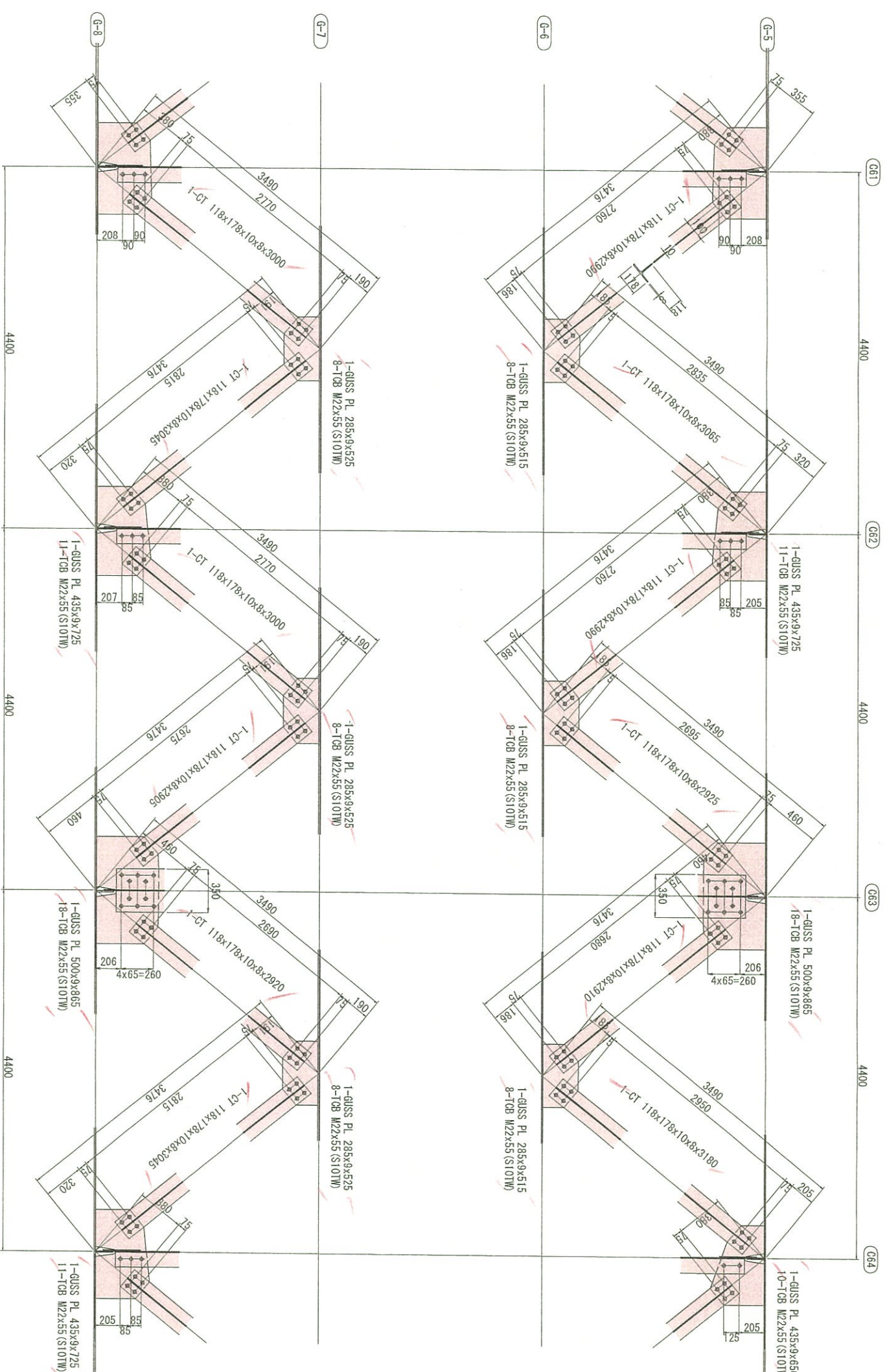
実施設計

注記
1. 特記なき材質は全てSMA400AMとする。
2. 寸 印は、TGB, M22 (S10TW) を示す。

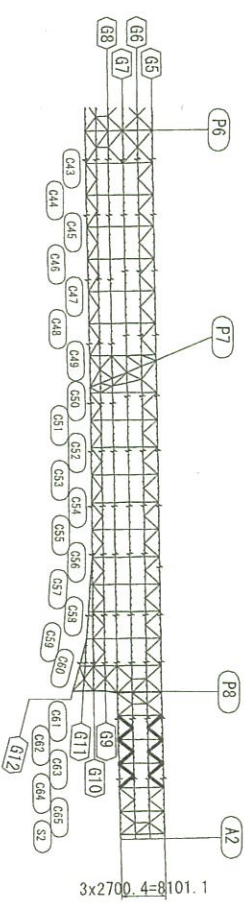


平成 31年度 工事番号 第19-41320-0047号	① 設計 ② 監理 ③ 小野 ④ 小野 ⑤ 小野
監理担当 氏 名	小野 康平
設計担当 氏 名	小野 康平
道路橋りょう整備(新設)工事(橋梁工部)	
橋構(その27)	
橋尺 図 示	図面番号 239 / 489
数量	年月日 監理者
設計	橋梁設計研究所
	監理者
	青井裕昭
	福島県 県中建設事務所

横構(その31)

 $S=1:20, 1:30$ 

思
同
因



実施設計

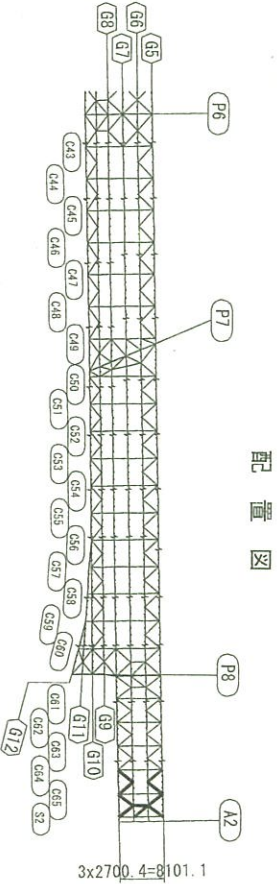
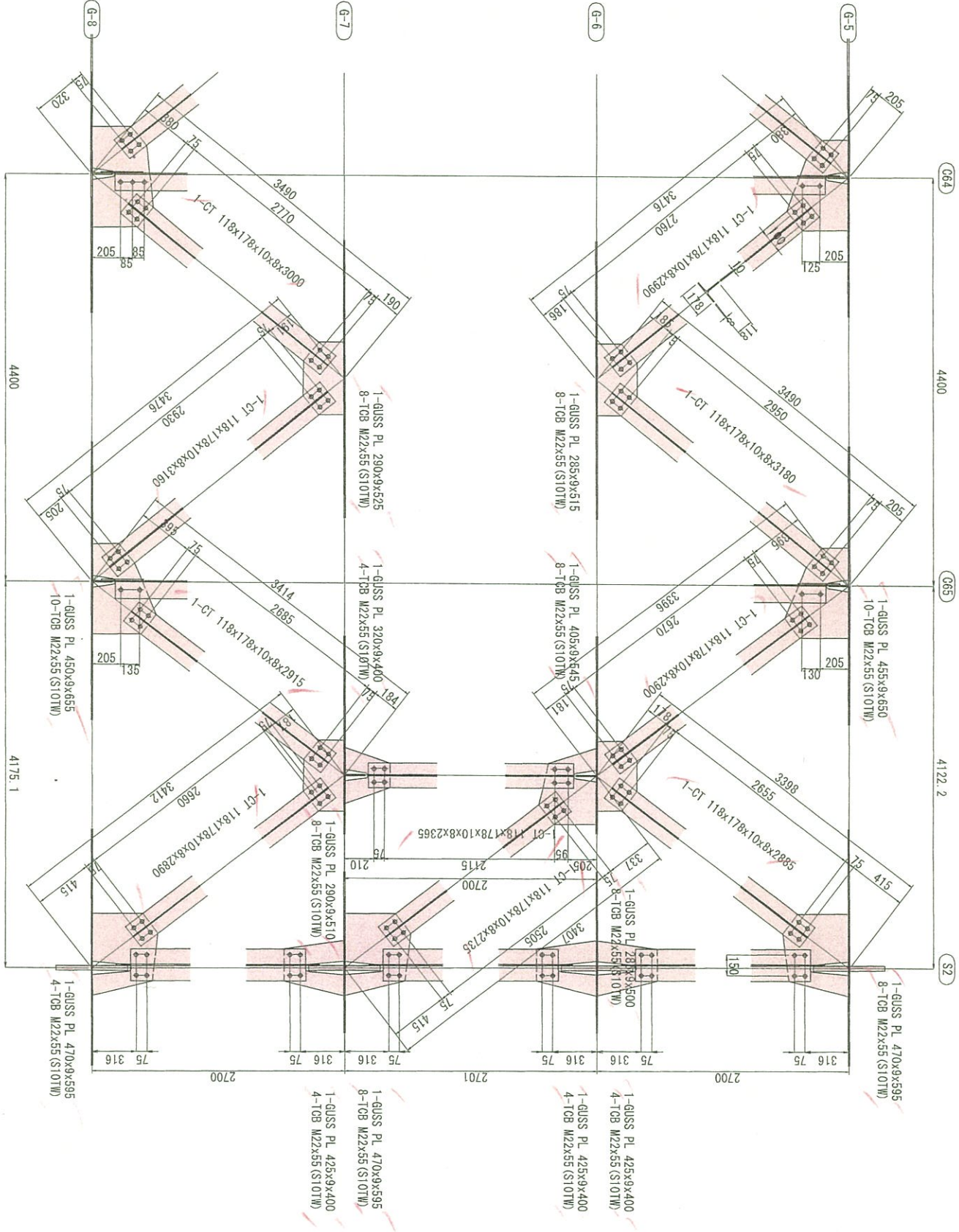
注記

1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. ϕ 印は、TCB.M22 (S10TW) を示す。

2. ~~+~~印は、TCB.M22 (S10TW) を示す。

平成 31年度 工事番号 第19-14320-0047号					
高田田電機 株式会社	(A)	田村 市	(B)	小宮 町	(C) 小宮新田地区 排水工
道路溝りよう整備(排水)工事(緑地上部)					
仕様(その31)					
繰尺		図示	図面番号		302 / 459
類型			年月日	現在 主在 氏名	
設計		株式会社 建設技術研究所		管理 氏名	青井常昭
福島県中建設事務所					

横構(その32) S=1:20, 1:30



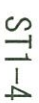
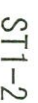
実施設計

注記
1. 特記なき材質は全てSMA400AMとする。
2. +印は、TGB, M22 (S10TW) を示す。

平成 31年度 工事番号 第19-41320-0047号			
道路橋りょう整備(所設)工事(橋梁上部)			
採橋(その32)			
橋尺	図示	図面番号	
測量	年月日	主 査	303 / 499
株式会社	監 査	技 査	
建設技術研究所	省 長	青井祐昭	
設計	技 師		

福田 隆 雄	田村 昌 雄	小野 利平子	小野新田町
--------	--------	--------	-------

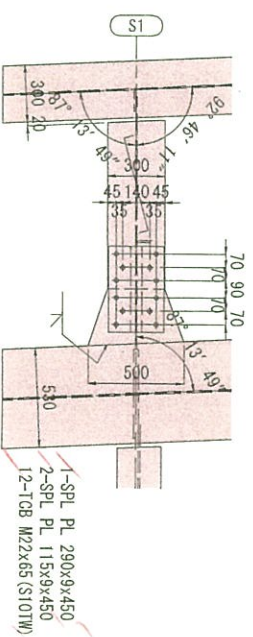
ST1-1



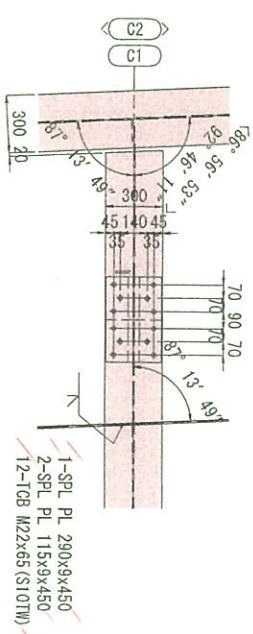
1. 特記なき材質は全てSMA400AMとする。
2. φ印は、TCB、M22 (S10TW) を示す。
3. 特記なきスカーラツプは、全てR35とする。

平成 31年度 工事番号 第19-14320-0047号			
道路田んぼ改修	① 田村 町 ② 小行 町 ③ 小笠原町(上郡)	14320	
道路橋よりうき橋(平改)工事(橋梁上郡)			
御坂紙(その1)			
橋尺	図 示	図面番番	304 / 493
照壁		年 月 日	正 在 比 照
設計	株式会社 建設技術研究所	管理 比 照	青井浩昭

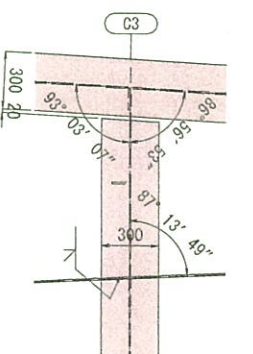
BRL-1



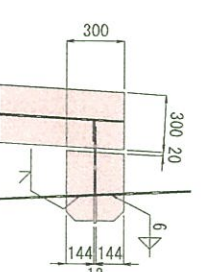
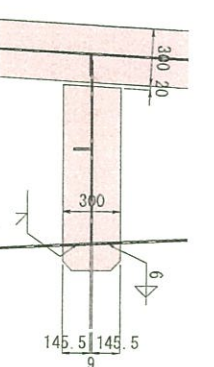
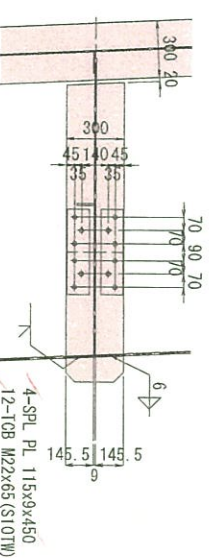
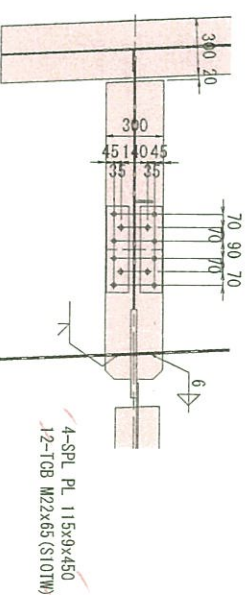
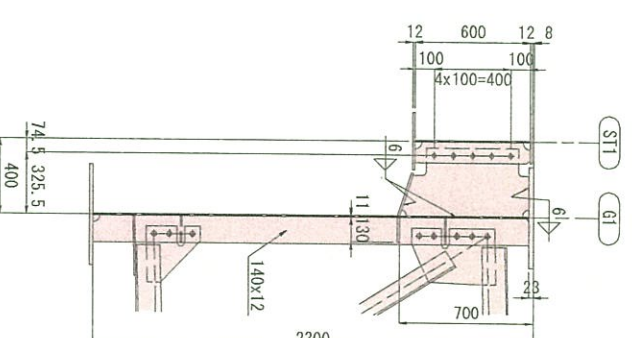
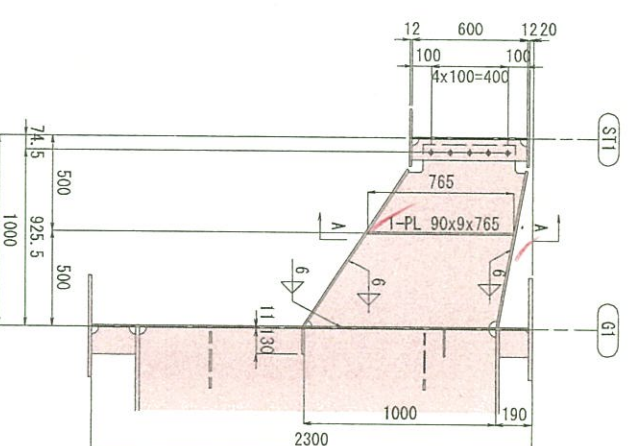
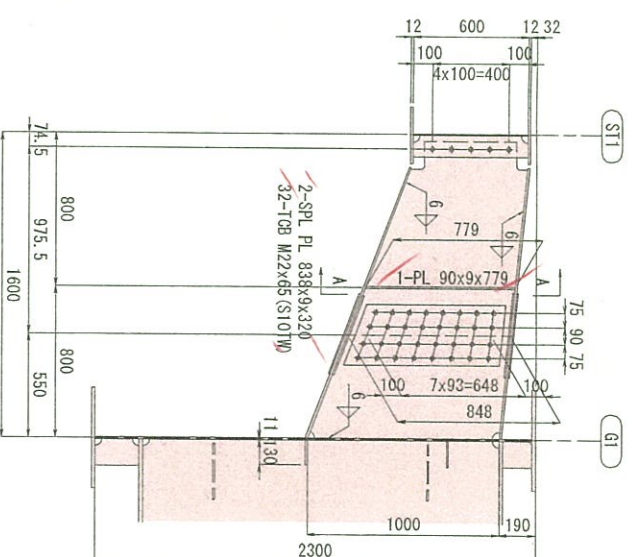
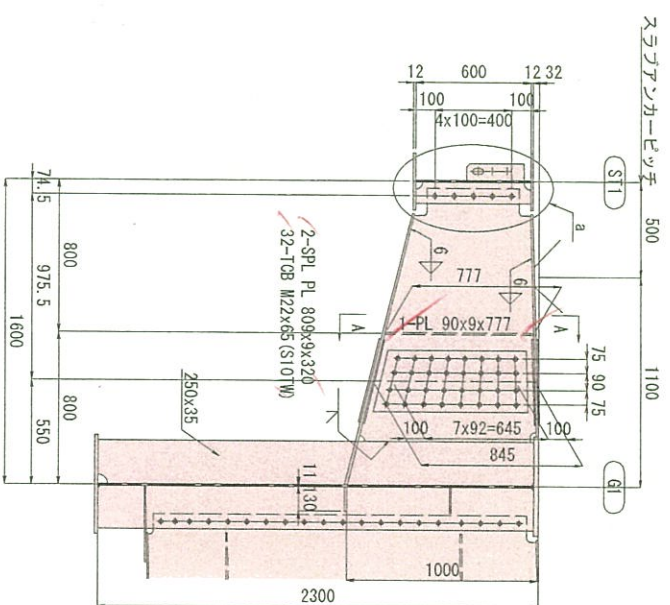
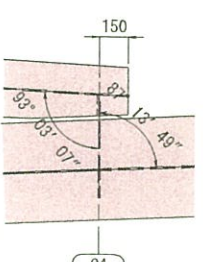
BRL-2<3>



BRL-4



BRL-5



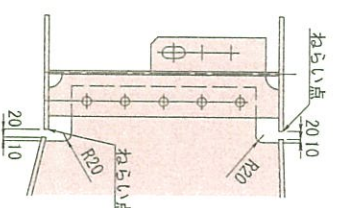
1-UF6 PL 300x12x887
1-WEB PL 845x9x1016
1-LF6 PL 300x12x913
5-T6B M2x55(S10TW)
1-PL 133x12x130
1-UF6 PL 500x12x297
1-WEB PL 930x9x295
1-LF6 PL 300x12x568
1-PL 133x12x136
1-PL 133x12x130

1-UF6 PL 300x12x892<885>
1-MEB PL 939x9x1016
1-UF6 PL 300x12x948<941>
5-TGB M22x55 (S10TW)
1-PL 146x12x130

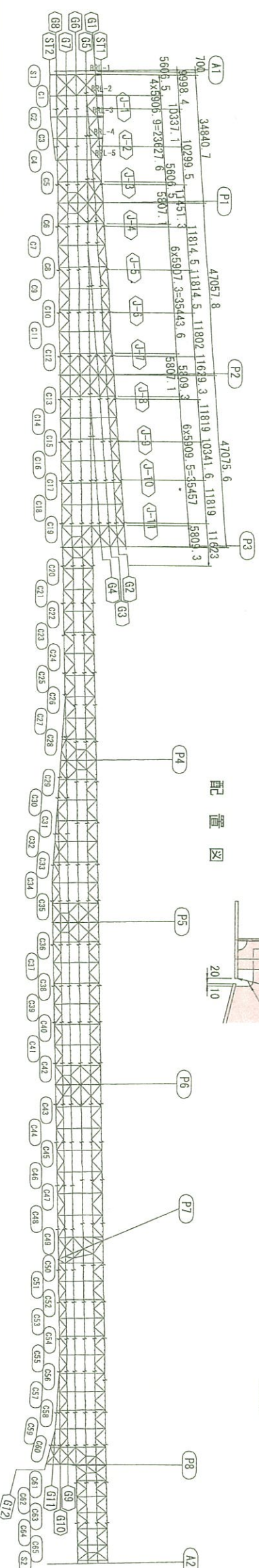
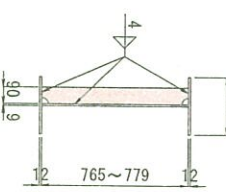
- 1-UF6 PL 300x12x854
- 1-WEB PL 1158x9x960
- 1-LFL6 PL 300x12x100
- 5-TCB M22x55(S10TW)
- 1-PL 146x12x137
- 1-PL 146x12x130

- WEB PL 686x9x360
- LFLG PL 300x12x25
- 5-TCB M2x55 (S10TW)
- PL 144x12x137
- PL 144x12x130

2部詳細 S=1:10



A-A

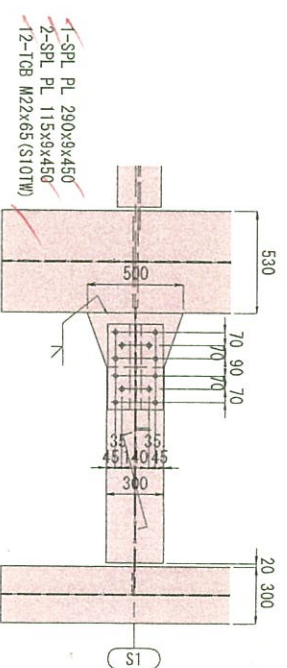


実施設計

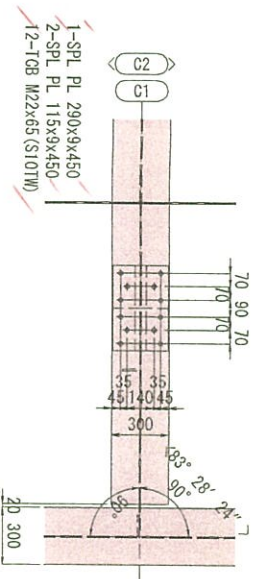
平成 31年度 工事番号 第19-0130A-0047号					
青田町電設 月	(A) 田村 重	(B) 小野 幸作	(C) 小野原尚典 様		
道鈴橋よりうなぎ川(平沼)工事(橋竣工前)					
ツラケット(その1)					
縮尺	図 示	図面番号	306 / 483		
測量		年月日	主任 佐藤 信		
設計	株式会社 建設技術研究所		筆 記 比類古 延年	青井裕昭	

ブラケット (その2) S=1:20

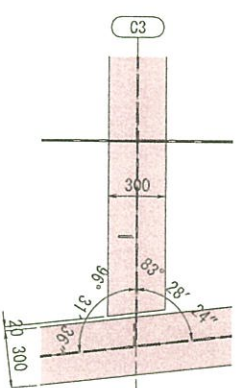
BRR-1



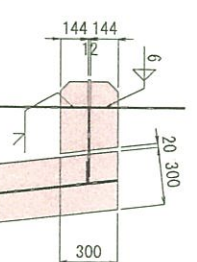
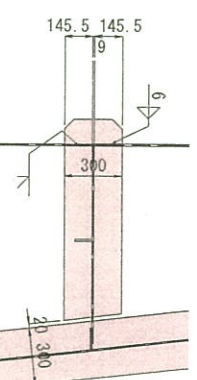
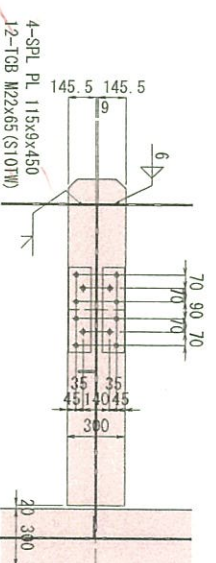
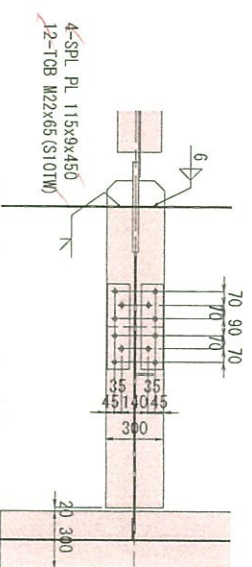
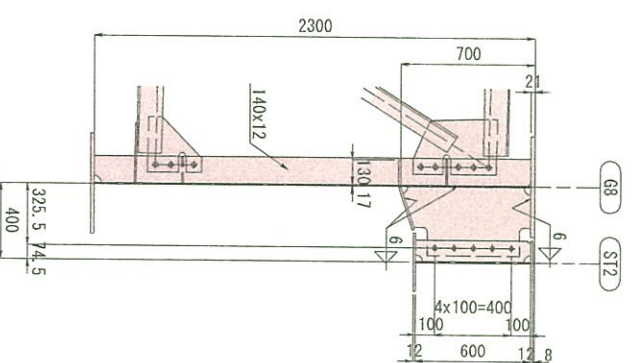
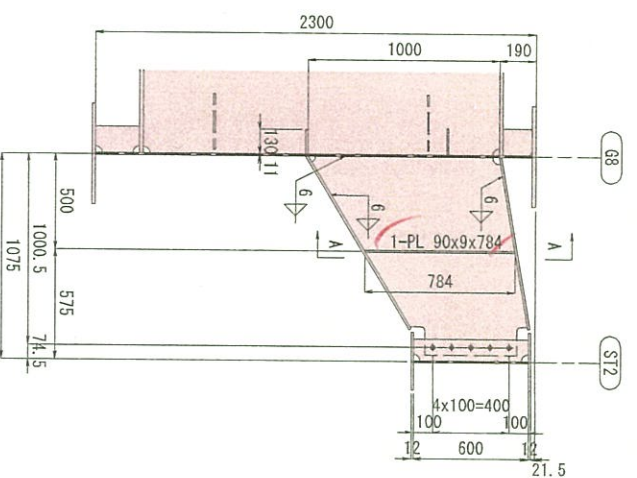
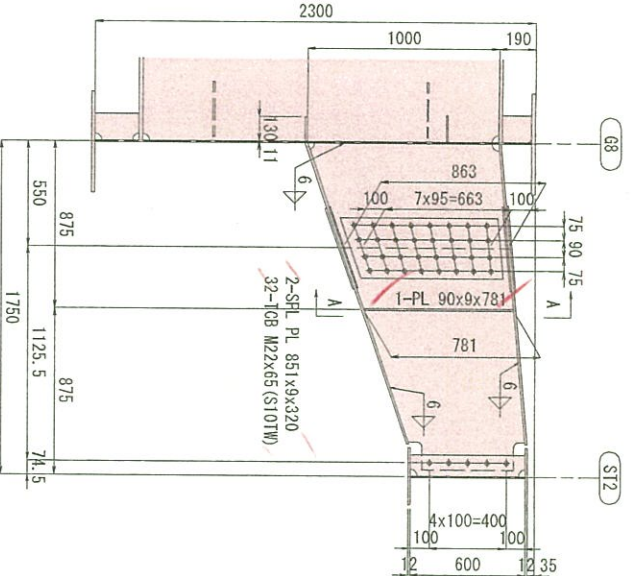
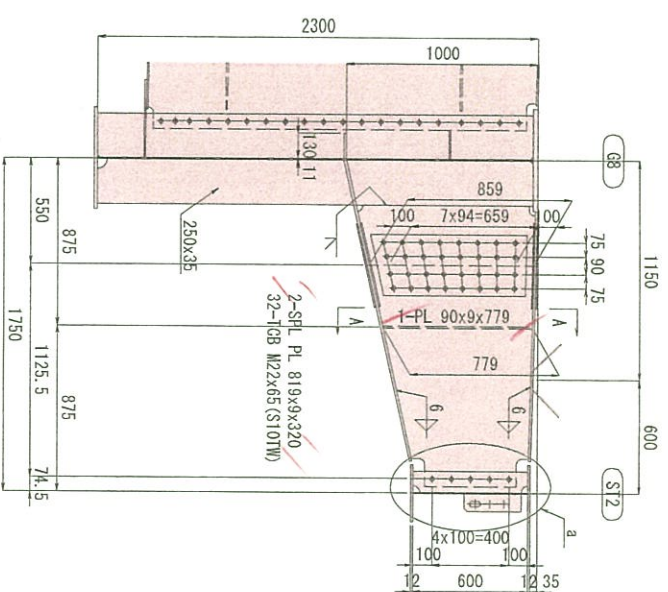
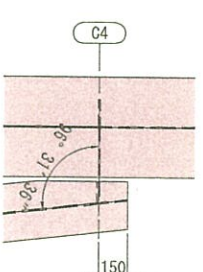
BRR-2<3>



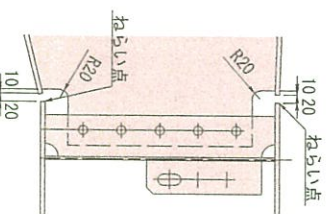
BRR-4



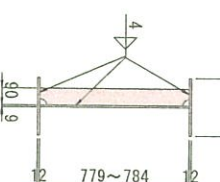
BRP-5



部詳細 S=1:10



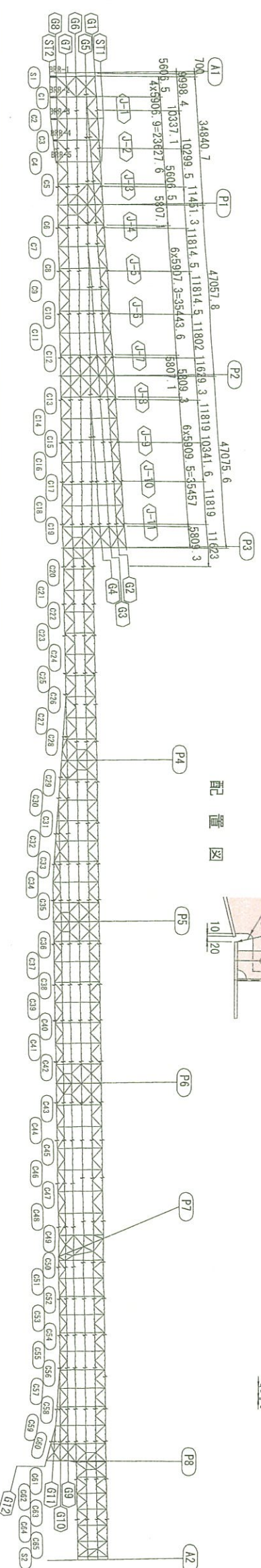
A-A



并記

1. 特記なき材質は全てSMA400AWとする。
2. γ 印は、TCB. M22 (S10TW) を示す。
3. 特記なきスカラーツブは、全てR35とする。
4. 詳細は、共通詳細図参照のこと。

实施设计



平成 31年度 工事番号 第19-41302-0047号					
富岡町役所 庁舎	(A) 田村	(B)	(C)	小野新橋内 社大テ	
道路橋りょう整備(待機)工事(橋梁工部)					
グラケット(そのカ)					
橋尺	図示	図面番号	307 / 493		
乗機		年月日	主任 佐々木	主任 佐々木	
設計 建設技術研究所	株式会社		主任 佐々木	主任 佐々木	青井浩司
福島県 県中建設事務所					

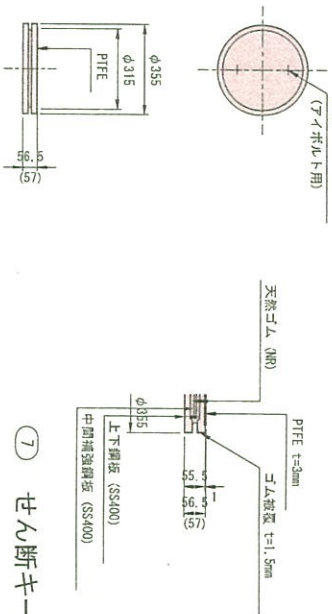
附件十四

設計要件		
反力 (kN)	AI	
最大反力	Draw	1350

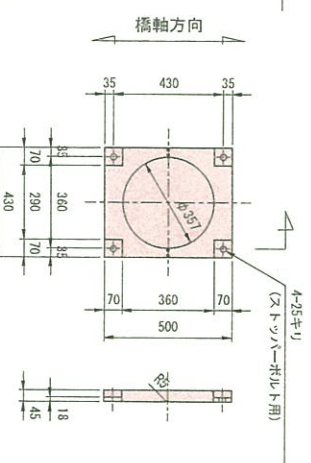
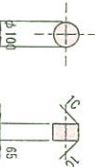
反力 (四輪照量用)	死荷重反力
------------	-------

最大水平力	
-------	--

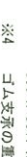
20 1 16 20



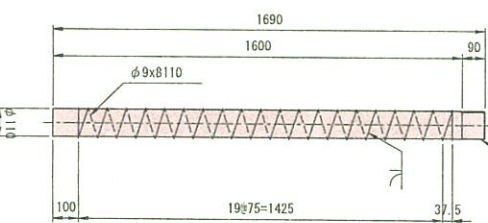
單位試驗



※2 寄田社様/社庫



⑩ 有取付未



平成 31年度 工事番号 第19-41307-004号					
立役者会社 H	()	設計 B	()	設計 C	中心設計者 D
道路標りよう設備(平設)工事(橋梁上部)					
受発(支分)の					
地区	町市	区画番号	208 / 409		
別名		年月日	主役者 建設費	客役者 費用	井井欄
12月	株式会社 建設技術研究所				
福島県 栗中道建設事務所					

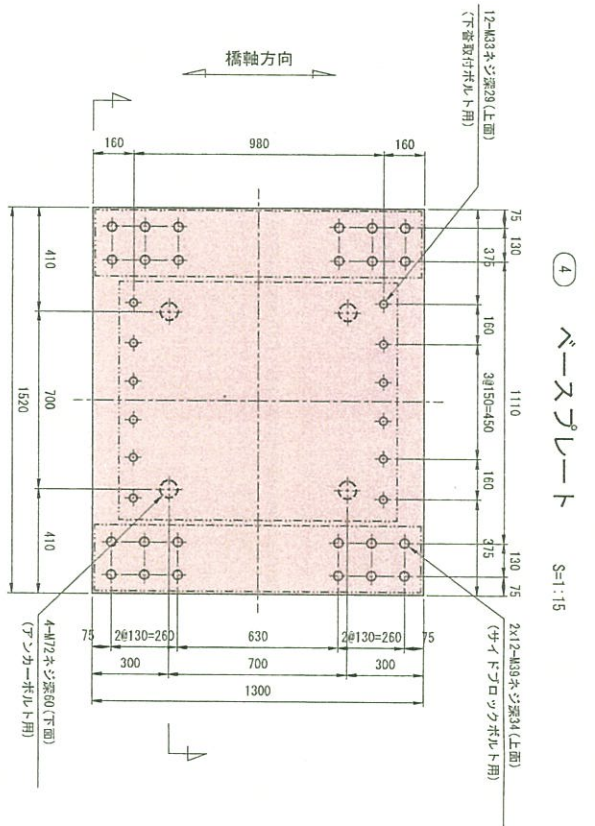
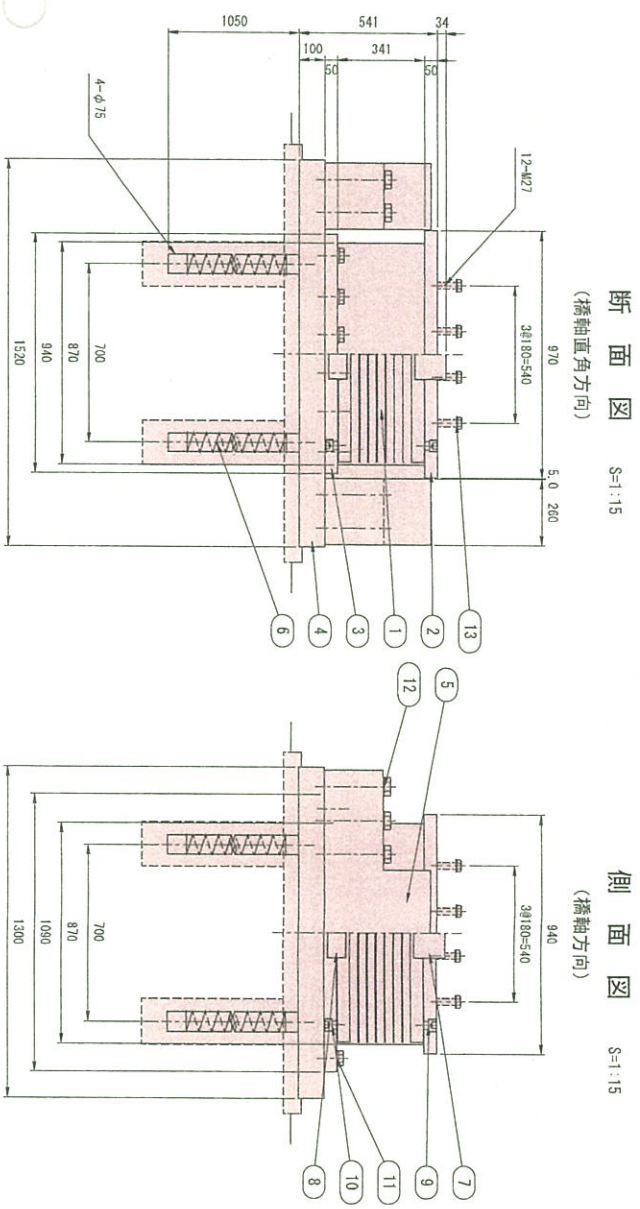
反カ (MM)		AI	
最大反力	Rmax	1350	
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	800	
反荷重反力	RO	570	
照査荷重	RII	390	
最大水平力	楕軸方向	Rheal	135
	楕軸直角方向	Rheo2	2654
	サイドロップ	Rheo3	2654
		Ro	-2448
上向きの地震力			
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量			
回転変位量	δOL	0.591	
水平変位量	δr	0.933	
	常時・楕軸方向	ΔL1	141
	地震時・楕軸方向	ΔLe1	473
	地震時・楕軸直角方向	ΔLe2	-
性能			
ゴムの種類及び呼び		材料・0	NR-010
圧縮ばね変数 (kN/mm)		Kv	660
試験変位量	せん断ひずみ (%)	γS	-
	変位量 (mm)	DB	-

部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	弾性荷重支持板	NR SS400, PTFE	1	29.8	NR(天然ゴム)
2	スライディングプレート	SM490, SUS316	1	337.1	
3	ベアスリーブ	SM490A	1	944.5	
4	スロットバー	SM490A or SCM430N	1	36.0	
5	フックホルト	S35CN, SR235	4	520.5	
6	サイドラロツク	SM490A or SCM430N	2	346.9	
7	せん断キー	SM490A or S35CN	2	8.0	上 用
8	スロットバーホルト, フリッシャー	建築区分 8. 8	4	0.9	
9	サイドラロツクホルト, フリッシャー	建築区分 10. 9	16	37.9	
10	桁梁付ホルト, フリッシャー	建築区分 10. 9	8	17. 9	
11	フイホルト	SS400	-	-	取組
合計				2270. 5	(kg)

支承(その2)

P1 分散型ゴム支承

④ ベースプレート



設計条件		P1
反力 (kN)	Rmax	2600
最大反力 (回頭車適用)	Rmax2	1760
死荷重反力	R0	1700
振動荷重	RIL	-
最大水平力	RHea1	1384
	RHea2	1380
	RHea3	1380
上向き地震力	Ru	-585
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δ_{el}	-
回転変位量	δ_r	1,417
水平変位量	常時・橋軸方向 地震時・橋軸方向 地震時・橋軸直角方向	AL1 AL1 ALa2
性能		
ゴムの種類及び呼び	材料:G	NR-68
せん断ばね定数 (kN/mm)	K5	2,752
試験変位量	せん断ひずみ (%)	7.5
	変位量 (mm)	175
1次形状係数	S1	7.08
2次形状係数	S2	4.05
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv	692

材 料 表 (1組当り)

部 品 名 称	材 質	個 数	重量(kg)	備 考
1 ゴム 支 承	NR-S3400, SM490A	1	948.1	NR(天然ゴム)
2 上 蓋	SM490A	1	337.3	
3 下 蓋	SM490A	1	381.8	
4 ベースプレート	SM490A	1	1533.5	
5 サイドフロッツ	SM490A or SM490H	2	1524.3	
6 フランジボルト	S35CN, S5235	4	158.8	
7 せん断キー	SM490A or S35CN	1	29.8	上 用
8 せん断キー	SM490A or S35CN	1	17.5	下 用
9 支取付ボルト(六角穴付)		12	6.3	上 用
10 支取付ボルト(六角穴付)		12	6.3	下 用
11 下蓋取付ボルト、ワッシャー		12	11.4	
12 サイドフロッツボルト、ワッシャー		24	75.2	
13 折取付ボルト、ワッシャー		12	7.8	
14 フライボルト	SM490A	-	-	MS6
合計			5035.4	(kg)

- ※1 道路橋支保簡便集規格。
- ※2 使用材料は道路橋支保簡集2.9に適合。
- ※3 橋脚をOで囲んだ部品は溶接距離決めつきとする。
- ※4 JIS H 8841 H0255、ボルト類はH0235とする。
- ※5 ゴム支保の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※6 製作・施工に必要なフライボルト穴は適宜設けること。
- ※7 必要なアイボルト本数は協議して決定すること。
- ※8 フライボルト穴は用済み後穴埋めすること。
- ※9 折取付ボルト重量は100mmとして参考に計上する。
- ※10 六角穴付きボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
- ※11 口部品はBPPコート (Zn-Ni, Zn-Al, Si被覆処理) とする。

- ⑨ 支取付ボルト(六角穴付)
- ⑩ 支取付ボルト(六角穴付)
- ⑪ 下蓋取付ボルト、ワッシャー
- ⑫ サイドフロッツボルト、ワッシャー
- ⑬ 折取付ボルト、ワッシャー
- ⑭ 支取付ボルト(六角穴付)
- ⑮ 支取付ボルト(六角穴付)
- ⑯ 下蓋取付ボルト、ワッシャー
- ⑰ サイドフロッツボルト、ワッシャー
- ⑱ 折取付ボルト、ワッシャー

実施設計

平成 31 年度 工事番号 第 19-41320-0047 号

工事種別 道路橋りょう整備(新設)工事(橋梁上部)

変更(その2)

図 1 図 2 図 3 図 4 図 5 図 6 図 7 図 8 図 9 図 10 図 11 図 12 図 13 図 14 図 15 図 16 図 17 図 18 図 19 図 20 図 21 図 22 図 23 図 24 図 25 図 26 図 27 図 28 図 29 図 30 図 31 図 32 図 33 図 34 図 35 図 36 図 37 図 38 図 39 図 40 図 41 図 42 図 43 図 44 図 45 図 46 図 47 図 48 図 49 図 50 図 51 図 52 図 53 図 54 図 55 図 56 図 57 図 58 図 59 図 60 図 61 図 62 図 63 図 64 図 65 図 66 図 67 図 68 図 69 図 70 図 71 図 72 図 73 図 74 図 75 図 76 図 77 図 78 図 79 図 80 図 81 図 82 図 83 図 84 図 85 図 86 図 87 図 88 図 89 図 90 図 91 図 92 図 93 図 94 図 95 図 96 図 97 図 98 図 99 図 100 図 101 図 102 図 103 図 104 図 105 図 106 図 107 図 108 図 109 図 110 図 111 図 112 図 113 図 114 図 115 図 116 図 117 図 118 図 119 図 120 図 121 図 122 図 123 図 124 図 125 図 126 図 127 図 128 図 129 図 130 図 131 図 132 図 133 図 134 図 135 図 136 図 137 図 138 図 139 図 140 図 141 図 142 図 143 図 144 図 145 図 146 図 147 図 148 図 149 図 150 図 151 図 152 図 153 図 154 図 155 図 156 図 157 図 158 図 159 図 160 図 161 図 162 図 163 図 164 図 165 図 166 図 167 図 168 図 169 図 170 図 171 図 172 図 173 図 174 図 175 図 176 図 177 図 178 図 179 図 180 図 181 図 182 図 183 図 184 図 185 図 186 図 187 図 188 図 189 図 190 図 191 図 192 図 193 図 194 図 195 図 196 図 197 図 198 図 199 図 200 図 201 図 202 図 203 図 204 図 205 図 206 図 207 図 208 図 209 図 210 図 211 図 212 図 213 図 214 図 215 図 216 図 217 図 218 図 219 図 220 図 221 図 222 図 223 図 224 図 225 図 226 図 227 図 228 図 229 図 230 図 231 図 232 図 233 図 234 図 235 図 236 図 237 図 238 図 239 図 240 図 241 図 242 図 243 図 244 図 245 図 246 図 247 図 248 図 249 図 250 図 251 図 252 図 253 図 254 図 255 図 256 図 257 図 258 図 259 図 260 図 261 図 262 図 263 図 264 図 265 図 266 図 267 図 268 図 269 図 270 図 271 図 272 図 273 図 274 図 275 図 276 図 277 図 278 図 279 図 280 図 281 図 282 図 283 図 284 図 285 図 286 図 287 図 288 図 289 図 290 図 291 図 292 図 293 図 294 図 295 図 296 図 297 図 298 図 299 図 300 図 301 図 302 図 303 図 304 図 305 図 306 図 307 図 308 図 309 図 310 図 311 図 312 図 313 図 314 図 315 図 316 図 317 図 318 図 319 図 320 図 321 図 322 図 323 図 324 図 325 図 326 図 327 図 328 図 329 図 330 図 331 図 332 図 333 図 334 図 335 図 336 図 337 図 338 図 339 図 340 図 341 図 342 図 343 図 344 図 345 図 346 図 347 図 348 図 349 図 350 図 351 図 352 図 353 図 354 図 355 図 356 図 357 図 358 図 359 図 360 図 361 図 362 図 363 図 364 図 365 図 366 図 367 図 368 図 369 図 370 図 371 図 372 図 373 図 374 図 375 図 376 図 377 図 378 図 379 図 380 図 381 図 382 図 383 図 384 図 385 図 386 図 387 図 388 図 389 図 390 図 391 図 392 図 393 図 394 図 395 図 396 図 397 図 398 図 399 図 400 図 401 図 402 図 403 図 404 図 405 図 406 図 407 図 408 図 409 図 410 図 411 図 412 図 413 図 414 図 415 図 416 図 417 図 418 図 419 図 420 図 421 図 422 図 423 図 424 図 425 図 426 図 427 図 428 図 429 図 430 図 431 図 432 図 433 図 434 図 435 図 436 図 437 図 438 図 439 図 440 図 441 図 442 図 443 図 444 図 445 図 446 図 447 図 448 図 449 図 450 図 451 図 452 図 453 図 454 図 455 図 456 図 457 図 458 図 459 図 460 図 461 図 462 図 463 図 464 図 465 図 466 図 467 図 468 図 469 図 470 図 471 図 472 図 473 図 474 図 475 図 476 図 477 図 478 図 479 図 480 図 481 図 482 図 483 図 484 図 485 図 486 図 487 図 488 図 489 図 490 図 491 図 492 図 493 図 494 図 495 図 496 図 497 図 498 図 499 図 500 図 501 図 502 図 503 図 504 図 505 図 506 図 507 図 508 図 509 図 510 図 511 図 512 図 513 図 514 図 515 図 516 図 517 図 518 図 519 図 520 図 521 図 522 図 523 図 524 図 525 図 526 図 527 図 528 図 529 図 530 図 531 図 532 図 533 図 534 図 535 図 536 図 537 図 538 図 539 図 540 図 541 図 542 図 543 図 544 図 545 図 546 図 547 図 548 図 549 図 550 図 551 図 552 図 553 図 554 図 555 図 556 図 557 図 558 図 559 図 560 図 561 図 562 図 563 図 564 図 565 図 566 図 567 図 568 図 569 図 570 図 571 図 572 図 573 図 574 図 575 図 576 図 577 図 578 図 579 図 580 図 581 図 582 図 583 図 584 図 585 図 586 図 587 図 588 図 589 図 590 図 591 図 592 図 593 図 594 図 595 図 596 図 597 図 598 図 599 図 600 図 601 図 602 図 603 図 604 図 605 図 606 図 607 図 608 図 609 図 610 図 611 図 612 図 613 図 614 図 615 図 616 図 617 図 618 図 619 図 620 図 621 図 622 図 623 図 624 図 625 図 626 図 627 図 628 図 629 図 630 図 631 図 632 図 633 図 634 図 635 図 636 図 637 図 638 図 639 図 640 図 641 図 642 図 643 図 644 図 645 図 646 図 647 図 648 図 649 図 650 図 651 図 652 図 653 図 654 図 655 図 656 図 657 図 658 図 659 図 660 図 661 図 662 図 663 図 664 図 665 図 666 図 667 図 668 図 669 図 670 図 671 図 672 図 673 図 674 図 675 図 676 図 677 図 678 図 679 図 680 図 681 図 682 図 683 図 684 図 685 図 686 図 687 図 688 図 689 図 690 図 691 図 692 図 693 図 694 図 695 図 696 図 697 図 698 図 699 図 700 図 701 図 702 図 703 図 704 図 705 図 706 図 707 図 708 図 709 図 710 図 711 図 712 図 713 図 714 図 715 図 716 図 717 図 718 図 719 図 720 図 721 図 722 図 723 図 724 図 725 図 726 図 727 図 728 図 729 図 730 図 731 図 732 図 733 図 734 図 735 図 736 図 737 図 738 図 739 図 740 図 741 図 742 図 743 図 744 図 745 図 746 図 747 図 748 図 749 図 750 図 751 図 752 図 753 図 754 図 755 図 756 図 757 図 758 図 759 図 760 図 761 図 762 図 763 図 764 図 765 図 766 図 767 図 768 図 769 図 770 図 771 図 772 図 773 図 774 図 775 図 776 図 777 図 778 図 779 図 780 図 781 図 782 図 783 図 784 図 785 図 786 図 787 図 788 図 789 図 790 図 791 図 792 図 793 図 794 図 795 図 796 図 797 図 798 図 799 図 800 図 801 図 802 図 803 図 804 図 805 図 806 図 807 図 808 図 809 図 810 図 811 図 812 図 813 図 814 図 815 図 816 図 817 図 818 図 819 図 820 図 821 図 822 図 823 図 824 図 825 図 826 図 827 図 828 図 829 図 830 図 831 図 832 図 833 図 834 図 835 図 836 図 837 図 838 図 839 図 840 図 841 図 842 図 843 図 844 図 845 図 846 図 847 図 848 図 849 図 850 図 851 図 852 図 853 図 854 図 855 図 856 図 857 図 858 図 859 図 860 図 861 図 862 図 863 図 864 図 865 図 866 図 867 図 868 図 869 図 870 図 871 図 872 図 873 図 874 図 875 図 876 図 877 図 878 図 879 図 880 図 881 図 882 図 883 図 884 図 885 図 886 図 887 図 888 図 889 図 890 図 891 図 892 図 893 図 894 図 895 図 896 図 897 図 898 図 899 図 900 図 901 図 902 図 903 図 904 図 905 図 906 図 907 図 908 図 909 図 910 図 911 図 912 図 913 図 914 図 915 図 916 図 917 図 918 図 919 図 920 図 921 図 922 図 923 図 924 図 925 図 926 図 927 図 928 図 929 図 930 図 931 図 932 図 933 図 934 図 935 図 936 図 937 図 938 図 939 図 940 図 941 図 942 図 943 図 944 図 945 図 946 図 947 図 948 図 949 図 950 図 951 図 952 図 953 図 954 図 955 図 956 図 957 図 958 図 959 図 960 図 961 図 962 図 963 図 964 図 965 図 966 図 967 図 968 図 969 図 970 図 971 図 972 図 973 図 974 図 975 図 976 図 977 図 978 図 979 図 980 図 981 図 982 図 983 図 984 図 985 図 986 図 987 図 988 図 989 図 990 図 991 図 992 図 993 図 994 図 995 図 996 図 997 図 998 図 999 図 1000 図 1001 図 1002 図 1003 図 1004 図 1005 図 1006 図 1007 図 1008 図 1009 図 1010 図 1011 図 1012 図 1013 図 1014 図 1015 図 1016 図 1017 図 1018 図 1019 図 1020 図 1021 図 1022 図 1023 図 1024 図 1025 図 1026 図 1027 図 1028 図 1029 図 1030 図 1031 図 1032 図 1033 図 1034 図 1035 図 1036 図 1037 図 1038 図 1039 図 1040 図 1041 図 1042 図 1043 図 1044 図 1045 図 1046 図 1047 図 1048 図 1049 図 1050 図 1051 図 1052 図 1053 図 1054 図 1055 図 1056 図 1057 図 1058 図 1059 図 1060 図 1061 図 1062 図 1063 図 1064 図 1065 図 1066 図 1067 図 1068 図 1069 図 1070 図 1071 図 1072 図 1073 図 1074 図 1075 図 1076 図 1077 図 1078 図 1079 図 1080 図 1081 図 1082 図 1083 図 1084 図 1085 図 1086 図 1087 図 1088 図 1089 図 1090 図 1091 図 1092 図 1093 図 1094 図 1095 図 1096 図 1097 図 1098 図 1099 図 1100 図 1101 図 1102 図 1103 図 1104 図 1105 図 1106 図 1107 図 1108 図 1109 図 1110 図 1111 図 1112 図 1113 図 1114 図 1115 図 1116 図 1117 図 1118 図 1119 図 1120 図 1121 図 1122 図 1123 図 1124 図 1125 図 1126 図 1127 図 1128 図 1129 図 1130 図 1131 図 1132 図 1133 図 1134 図 1135 図 1136 図 1137 図 1138 図 1139 図 1140 図 1141 図 1142 図 1143 図 1144 図 1145 図 1146 図 1147 図 1148 図 1149 図 1150 図 1151 図 1152 図 1153 図 1154 図 1155 図 1156 図 1157 図 1158 図 1159 図 1160 図 1161 図 1162 図 1163 図 1164 図 1165 図 1166 図 1167 図 1168 図 1169 図 1170 図 1171 図 1172 図 1173 図 1174 図 1175 図 1176 図 1177 図 1178 図 1179 図 1180 図 1181 図 1182 図 1183 図 1184 図 1185 図 1186 図 1187 図 1188 図 1189 図 1190 図 1191 図 1192 図 1193 図 1194 図 1195 図 1196 図 1197 図 1198 図 1199 図 1200 図 1201 図 1202 図 1203 図 1204 図 1205 図 1206 図 1207 図 1208 図 1209 図 1210 図 1211 図 1212 図 1213 図 1214 図 1215 図 1216 図 1217 図 1218 図 1219 図 1220 図 1221 図 1222 図 1223 図 1224 図 1225 図 1226 図 1227 図 1228 図 1229 図 1230 図 1231 図 1232 図 1233 図 1234 図 1235 図 1236 図 1237 図 1238 図 1239 図 1240 図 1241 図 1242 図 1243 図 1244 図 1245 図 1246 図 1247 図 1248 図 1249 図 1250 図 1251 図 1252 図 1253 図 1254 図 1255 図 1256 図 1257 図 1258 図 1259 図 1260 図 1261 図 1262 図 1263 図 1264 図 1265 図 1266 図 1267 図 1268 図 1269 図 1270 図 1271 図 1272 図 1273 図 1274 図 1275 図 1276 図 1277 図 1278 図 1279 図 1280 図 1281 図 1282 図 1283 図 1284 図 1285 図 1286 図 1287 図 1288 図 1289 図 1290 図 1291 図 1292 図 1293 図 1294 図 1295 図 1296 図 1297 図 1298 図 1299 図 1300 図 1301 図 1302 図 1303 図 1304 図 1305 図 1306 図 1307 図 1308 図 1309 図 1310 図 1311 図 1312 図 1313 図 1314 図 1315 図 1316 図 1317 図 1318 図 1319 図 1320 図 1321 図 1322 図 1323 図 1324 図 1325 図 1326 図 1327 図 1328 図 1329 図 1330 図 1331 図 1332 図 1333 図 1334 図 1335 図 1336 図 1337 図 1338 図 1339 図 1340 図 1341 図 1342 図 1343 図 1344 図 1345 図 1346 図 1347 図 1348 図 1349 図 1350 図 1351 図 1352 図 1353 図 1354 図 1355 図 1356 図 1357 図 1358 図 1359 図 1360 図 1361 図 1362 図 1363 図 1364 図 1365 図 1366 図 1367 図 1368 図 1369 図 1370 図 1371 図 1372 図 1373 図 1374 図 1375 図 1376 図 1377 図 1378 図 1379 図 1380 図 1381 図 1382 図 1383 図 1384 図 1385 図 1386 図 1387 図 1388 図 1389 図 1390 図 1391 図 1392 図 1393 図 1394 図 1395 図 1396 図 1397 図 1398 図 1399 図 1400 図 1401 図 1402 図 1403 図 1404 図 1405 図 1406 図 1407 図 1408 図 1409 図 1410 図 1411 図 1412 図 1413 図 1414 図 1415 図 1416 図 1417 図 1418 図 1419 図 1420 図 1421 図 1422 図 1423 図 1424 図 1425 図 1426 図 1427 図 1428 図 1429 図 1430 図 1431 図 1432 図 1433 図 1434 図 1435 図 1436 図 1437 図 1438 図 1439 図 1440 図 1441 図 1442 図 1443 図 1444 図 1445 図 1446 図 1447 図 1448 図 1449 図 1450 図 1451 図 1452 図 1453 図 1454 図 1455 図 1456 図 1457 図 1458 図 1459 図 1460 図 1461 図 1462 図 1463 図 1464 図 1465 図 1466 図 1467 図 1468 図 1469 図 1470 図 1471 図 1472 図 1473 図 1474 図 1475 図 1476 図 1477 図 1478 図 1479 図 1480 図 1481 図 1482 図 1483 図 1484 図 1485 図 1486 図 1487 図 1488 図 1489 図 1490 図 1491 図 1492 図 1493 図 1494 図 1495 図 1496 図 1497 図 1498 図 1499 図 1500 図 1501 図 1502 図 1503 図 1504 図 1505 図 1506 図 1507 図 1508 図 1509 図 1510 図 1511 図 1512 図 1513 図 1514 図 1515 図 1516 図 1517 図 1518 図 1519 図 1520 図 1521 図 1522 図 1523 図 1524 図 1525 図 1526 図 1527 図 1528 図 1529 図 1530 図 1531 図 1532 図 1533 図 1534 図 1535 図 1536 図 1537 図 1538 図 1539 図 1540 図 1541 図 1542 図 1543 図 1544 図 1545 図 1546 図 1547 図 1548 図 1549 図 1550 図 1551 図 1552 図 1553 図 1554 図 1555 図 1556 図 1557 図 1558 図 1559 図 1560 図 1561 図 1562 図 1563 図 1564 図 1565 図 1566 図 1567 図 1568 図 1569 図 1570 図 1571 図 1572 図 1573 図 1574 図 1575 図 1576 図 1577 図 1578 図 1579 図 1580 図 1581 図 1582

P2 固定コゝム支承

[illegible]

Technical drawing of a mechanical assembly (Fig. 10.10) showing a cross-section of a shaft with a central hub and two side flanges. The shaft has a diameter of 50 mm. The central hub has an outer diameter of 82 mm and a length of 50 mm. The side flanges have an outer diameter of 95 mm and a thickness of 12 mm. The flanges are secured with bolts. Dimensions are given in mm.

Technical drawing of a 20mm diameter hole in a plate. The drawing shows a cross-section of the hole with a diameter of $\phi 20$ and a depth of 75. The hole is located in a plate with a thickness of 4.5mm. The material is specified as SS400. The drawing also shows a 20mm diameter hole in a plate with a thickness of 4.5mm, with a diameter of $\phi 4.5$ and a depth of 75. The material is specified as SS400.

[illegible]

橋軸方向

二酸化モリブデン析出(上面)

4-455 (フッカーボルト用)

二酸化モリブデン析出(上面)

7

[illegible]

種 類	材 質	個数
□76	SM490A	4
t=16	SM490A	8
t=19	SM490A	16
t=2	SUS316	16
t=1	SUS316	8

Technical drawing of a 2.59mm thick plate. The drawing shows a rectangular plate with a width of 380 and a length of 660. The thickness is indicated as 2.59mm. There are two circular holes, each with a diameter of 160, spaced 9 apart. The drawing is labeled with dimensions 380, 660, 160, and 9. The text '2.59mm' is written vertically on the right side of the drawing.

Technical drawing of a 2-M12 nut. The drawing includes a side view and a top view. The side view shows a nut with a total height of 110, a top flange thickness of 20, and a main body height of 90. The top flange has an outer diameter of $\phi 280$ and an inner diameter of $\phi 220$. The main body has an outer diameter of $\phi 220$ and an inner diameter of $\phi 20$. The nut is labeled with "2-M12ネジ用" (for 2-M12 screw) and "2-φ3.5深さ5 (1) マット補付用" (2-φ3.5 depth 5 (1) mat supplement use). The top view shows a circular nut with a central hole of diameter $\phi 20$ and a flange with an outer diameter of $\phi 280$ and an inner diameter of $\phi 220$. The nut is labeled with "2-M12ネジ用" (for 2-M12 screw) and "2-φ3.5深さ5 (1) マット補付用" (2-φ3.5 depth 5 (1) mat supplement use).

反力 (kN)		P2
最大反力	Rmax	2450
最大反力 (回転照査用)	Rmax2	1990
死荷重反力	RD	1630
照査荷重	RIL	-
最大水平力	Rheel Rhoor2	2289 2413
上向き地震力	Ru	-091
変位量 (mm)		
照査荷重時の変位量	δd	-
回転変位量	δr	0.759
水平変位量	常時・橋軸方向 Ale1	-
	地震時・橋軸方向 Ale1	-
	地震時・橋軸垂直方向 Ale2	-
性能		
ミムの種類及び呼び	材料・G	NP-G10
圧倒ばね定数 (kN/mm)	Kv	940
試験変位量	yS	-
	変位量 (mm)	UB
		-

番番	部 品 名 称	材 質	数量	重量(kg)	備 考
1	河柱管(兼支持板)	MR.SS400	1	75.8	
2	上 蓋	SM490A	1	177.8	
3	下 蓋	SM490A	1	550.2	
4	ベースプレート	SM490A	1	508.2	
5	シムボク	SA56N	1	65.6	
6	リフテチャット	SA56N	1	2.3	
7	アッパースタット	SS56N,MR235	4	240.6	
8	金メッキ、ナット、ワッシャー	強度区分 8, 8	4	24.4	
9	折板付ボルト、ワッシャー	強度区分 10, 9	12	12.6	
10	スベサー	SM490A, SUS316	一式	35.1	
11	蓋プレート	SM490A	2	14.1	
12	アッパースタット	SS400	-	-	430
合計				1796.7 (kg)	

※1	道路橋支保工費集解、
※2	使用材料は道路橋支保工費集解2.1に適合、
※3	指板を2枚の面とした節点部設置要項のとせとする、
※4	JIS H 8041 H0255、ボルト類はH0235とする、
※5	工字鋼の重量は仕工上の参考重量と示す、
※6	製作・施工に必要な「ボルト」穴は設置すること、
※7	必要なら「ボルト」本取を指定して決定すること、
※8	「ボルト」穴は用字の内径1.5mmのこと、
※9	折衝付ボルトの重量は1=100mmとして参考にすること、
※10	シム材、リソングラウトはめつとき後加工のこと、
	①部品名「BBP-2」(2mm、3mm、4mm、5mm混合使用)とする、

⑧	全ネジ、ナット、ワッシャー	M56 × 215	強度区分 8.8
⑨	桁取付ボルト、ワッシャー	M33 × 100	強度区分 10.9

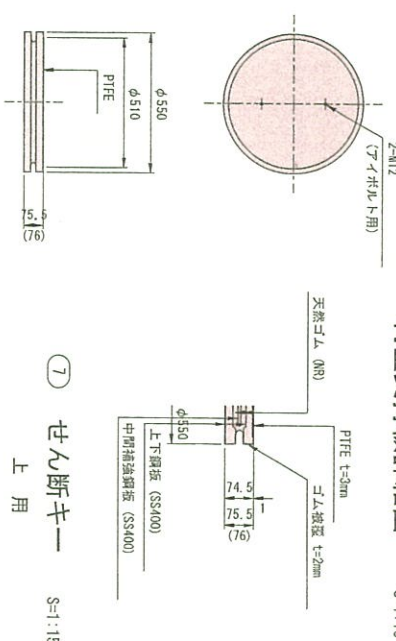
平成 31年度 工事番号 第19-4-1320-004号				
工事種別	① ② ③	④	⑤	⑥
工事内容	1 道路	2 橋梁	3 河川	4 港湾
工事箇所	市道第1320号線			
運送機りよう設備(新設)工事(橋梁上部)				
工事(その3)				
坪尺	図号	図面番号	310 / 400	
図面		年月日	訂正	
特記事項	設計者(住所)	設計日	監理	
設計	(住所)	図面日	図面	資料管理

P3 (G1-G4) 固定ゴム支承

側 面 図 $S=1:15$
(橋軸方向)

① 弾性荷重支持板 $S=1:15$
(4000KN用)

荷重支持板詳細図
S=1:10

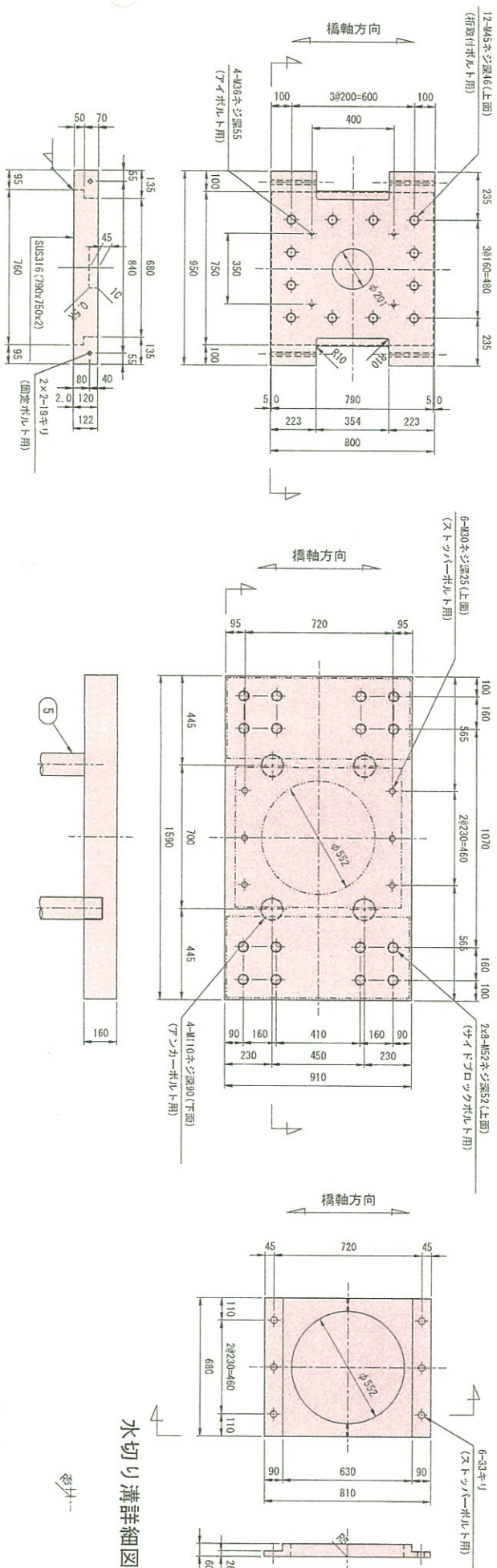


⑦ せん断キー S=1:15
上用

② スライディングプレート
S=1:15

③ ベースプレート
S=1:15

④ ストッパー S=1:15



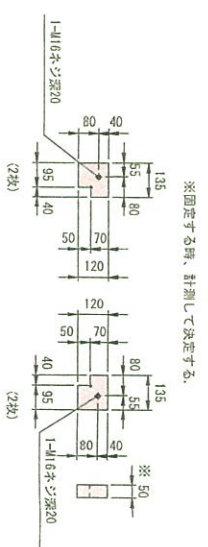
水切り溝詳図

S=1:15

⑥ サイトログロツク S=1:15

⑤ アンカーボルト
S:1:15

⑪ スーパー
§1:15



8	ストッパーボルト、ワッシャー	M30 x 55	強度区分 8.8
9	サイズワロツクボルト、ワッシャー	M52 x 120	強度区分 8.8
10	折取付ボルト、ワッシャー	M45 x 100	強度区分 8.8
12	固定ボルト、ワッシャー	M16 x 240	強度区分 8.8

位圖

實施設計

設計条件	
反力 (kN)	P3
最大反力	Rmax 371
最大反力 (同経照査用)	Rmax2 241
死荷重反力	RD 61
照査荷重	RL 181
最大水平力	Rhd1 181
橋軸方向	Rhd2 341
橋軸垂直方向	Rhd3 341
サイロプロック	Ru -230
上向き地震力	
変位量 (mm)	
照査荷重時の変位量	δ_{cl}
回転変位量	δ_r 0.75
水平変位量	$\Delta L1$
	常時・橋軸方向
	地震時・橋軸方向
	地震時・橋軸垂直方向
	$\Delta Ld2$
性能	
シムの種類及び呼び	材料・6
圧縮ばね定数 (kN/mm)	Kv 166
回転変位量	γS
	変位量 (mm)
	UB
	NR-G1

材 料 表 (1相当り)					
部番	部 品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	弾性部重支持板	NR, SSK60, JFE	1	94.0	NR(天吊ゴム)
(2)	スライディングプレート	SM490A, SUS316	1	629.8	
(3)	ベースプレート	SM490A	1	1775.7	
(4)	ストッパー	SM490A or SCM480N	1	113.0	
5	アジャスターボルト	S35CR, SPC25	4	504.8	
(6)	サードドロツク	SM490A or SCM480N	2	512.4	
(7)	せん断キー	SM490A or S35CR	1	21.9	上 用
(8)	ストッパプレート	強度区分 8.8	6	3.5	
(9)	サードドロツクボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	16	56.3	
(10)	折返しボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	12	26.9	
(11)	スベークー	SM490A	4	22.2	
(12)	固定ボルト、ワッシャー	強度区分 8.8	4	1.7	
(13)	アジャスター	SS400	-	-	MS6
合計				3762.2	(kg)

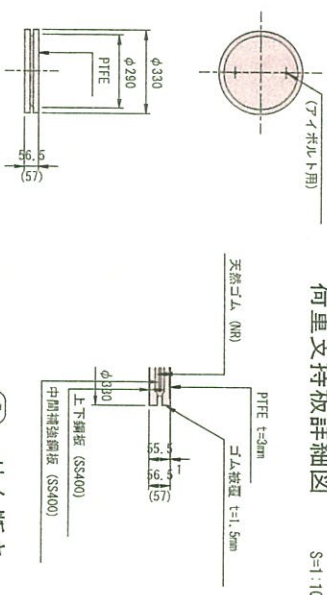
平成 31 年度 工事番号 第19-41320-0047号			
立寄町 1 丁目	2 丁目	3 丁目	中野区役所
道路無りよう整備(再建)工事(橋梁上部)			
受発(その4)			
宛先	図示	図面番号	311 / 489
科目	年月日	工事名	
12月	12月1日	重役	青木尚樹
株式会社 建設自由経済産業 (主) 工社(1320-xxxx)			

福島県南中建設事務所

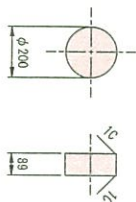
條件設計

反	
---	--

死荷重反力

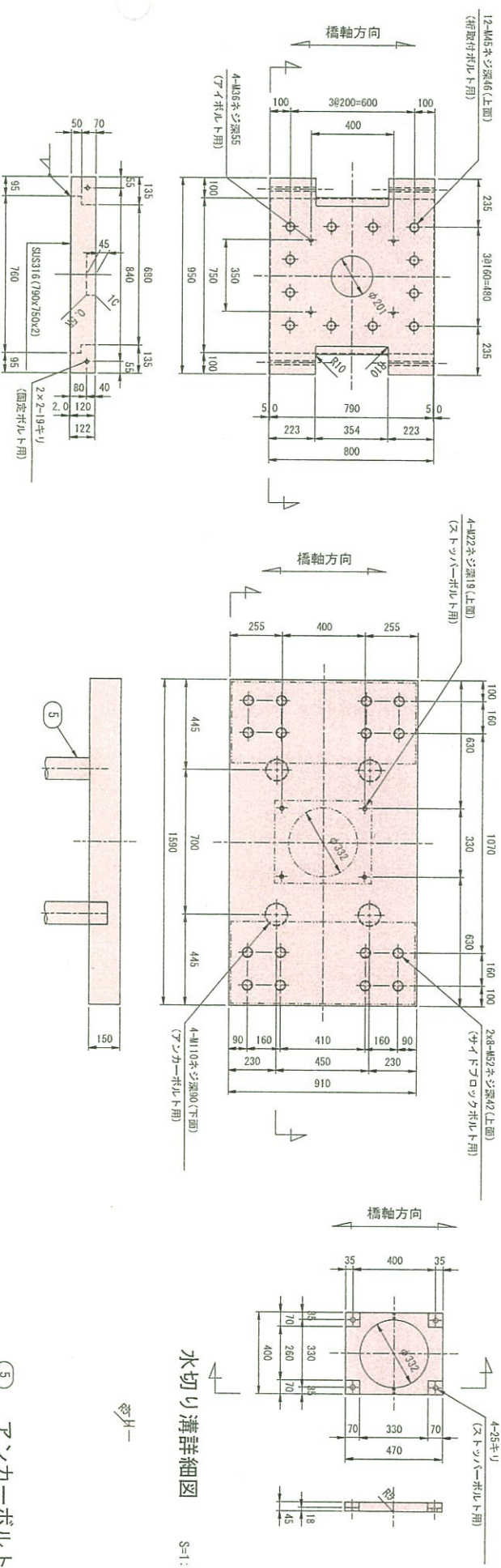


S=1:10



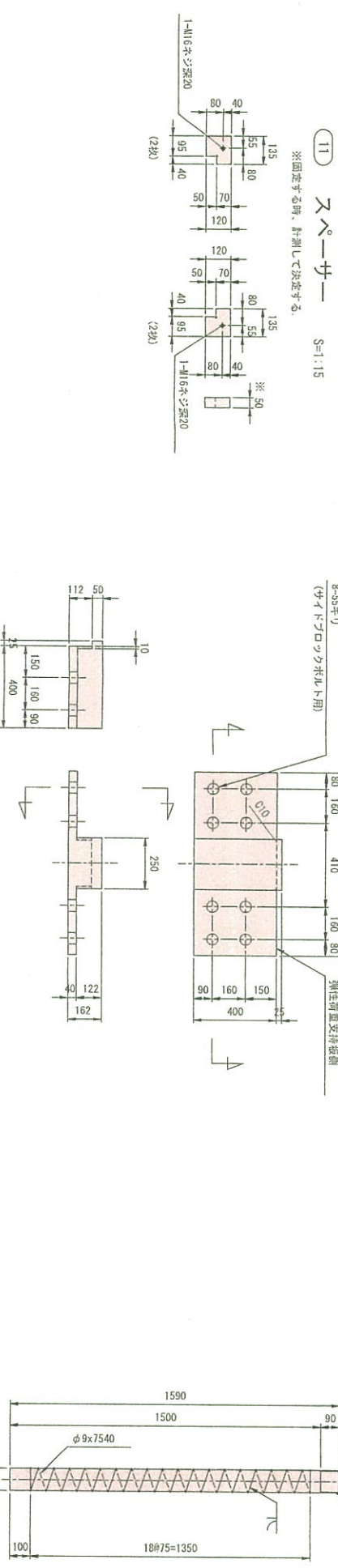
S=1:15

5	アンカーボルト
---	---------



S=1:15

解



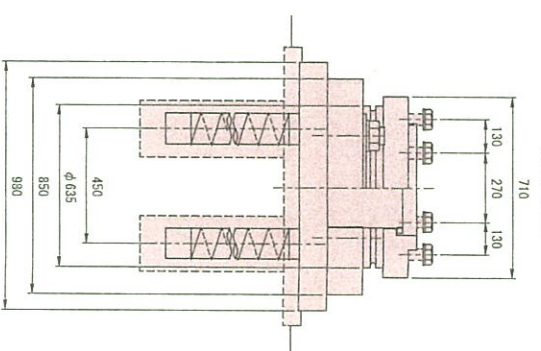
在
國
國

順番	品 名 称	材 質	個数	重量(kg)	備 考
1	列氏振動支持板	IN, SFA00, PTFE	1	25.8	NR(天然ゴム)
2	スライディングプレート	SH490A, SUS316	1	629.8	
3	ベースプレート	SH490A	1	1665.4	
4	ストップバー	SH490A or SCM480N	1	31.3	
5	アソカールホルト	S355CR, SP235	4	489.5	
6	サイドフロツク	SH490A or SCM480N	2	409.1	
7	せん断キー	SH490A or S355CR	1	21.9	上 用
8	ストップバーホルト, フッシー	強度区分 8.8	4	0.9	
9	サイドフロツクホルト, フッシー	強度区分 8.8	16	48.2	
10	振動板ホルト, フッシー	強度区分 8.8	12	26.9	
11	スベーター	SH490A	4	22.2	
12	固定ホルト, フッシー	強度区分 8.8	4	1.7	
13	アイホルト	SFA00	-	-	436
合計				3371.7	(kg)

[illegible]

固定ゴム支承

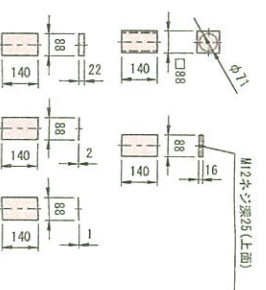
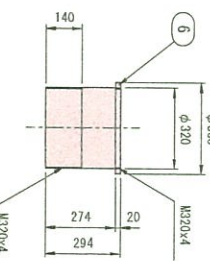
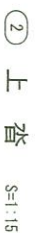
(橋軸直角方向)



(橋軸方向)



弹性荷重支持板

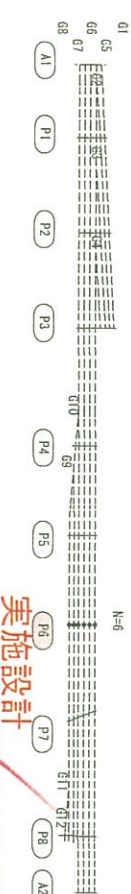


材料表
(1組当り)

合計	3497.6 (kg)
----	-------------

※10 □部品はBBPコート（Zn-Ni、Zn-Al、Si複合被膜）とする。

⑨ 析取付ボルト、ワッシャー



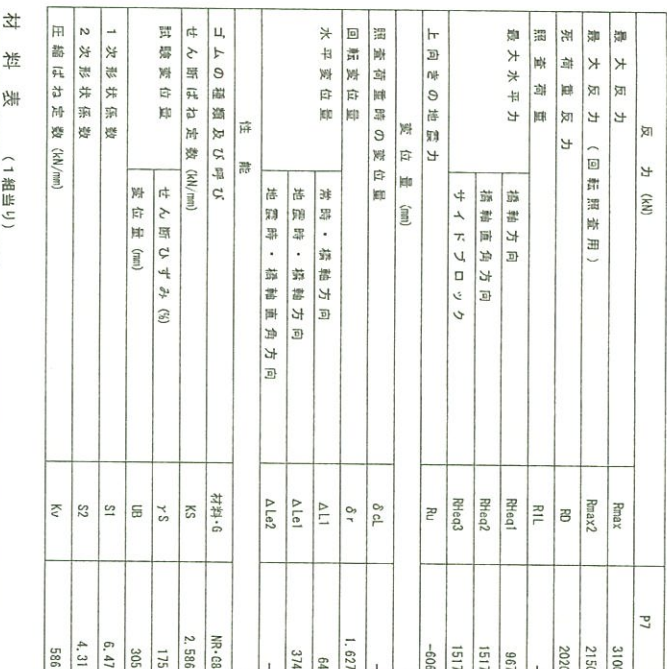
設計

平成 31 年度 工事番号 第10-141320-004号			
工事年度 H1	① 1 日付	② 0 工事	③ 0 年度 年度 年度
道路幅よりよう設備(円蔵)工事(仮設上留)			
受発(その力)			
収得	回 年	設備番号	314 / 000
製品		工 程 日 月 日	工事 年度 年度
設計 建設会社 建設事務所 (工事所) (41320-004)		工事 日 月 日	工事 年度 年度
			発注機関

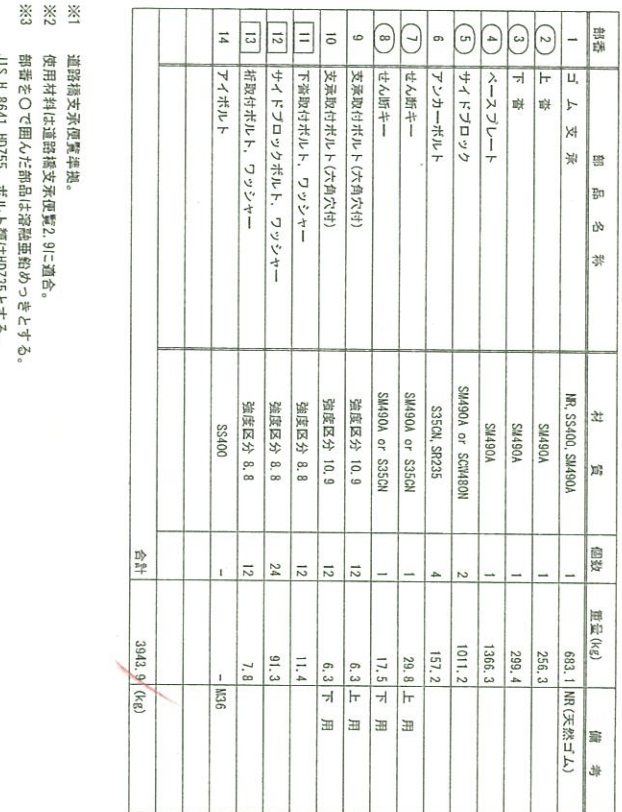
學
學
學
學

12

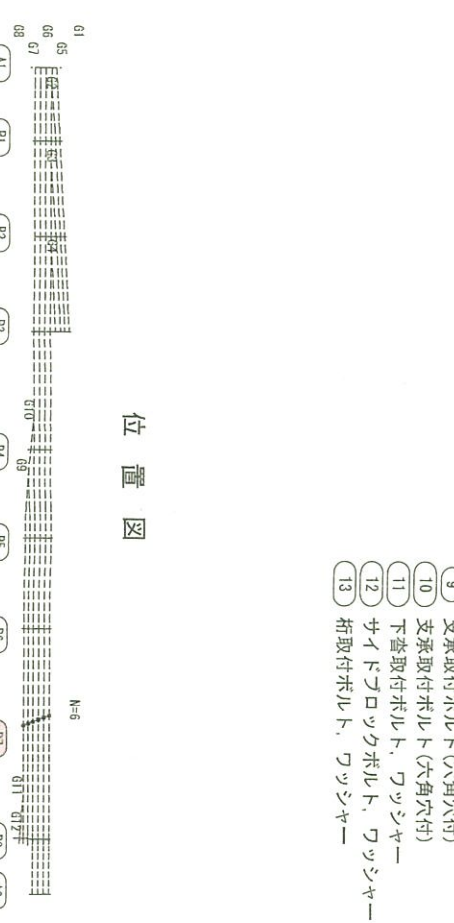
最大反力 (



牛ノ鬚十



※10 □部品はBBPコート（Zn-Ni、Zn-Al、Si複合被膜）とする。



平成 31 年度 工事番号 第 19-I-320-0047 号			
工事種別	① 道路	② 区別	③ 年次
工事種別	11	区別	14年度
道路供用より整備(既設)工事(橋梁上部)			
支弁(2.08)			
単位	図示	図面番号	315 / 298
数量		工事	15年度
建設会社		竣工	20年度
建設費(税別)費用		竣工	20年度
(工事費-I-4120-xxx)		竣工	20年度
2021		竣工	20年度
福島県南中建設事務所			

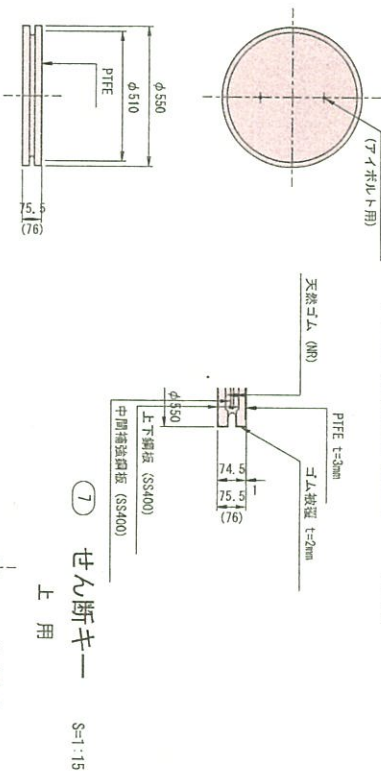
條件

機能分離型支承装置 (荷重支持部)

弹性荷重支持板

S=1:15

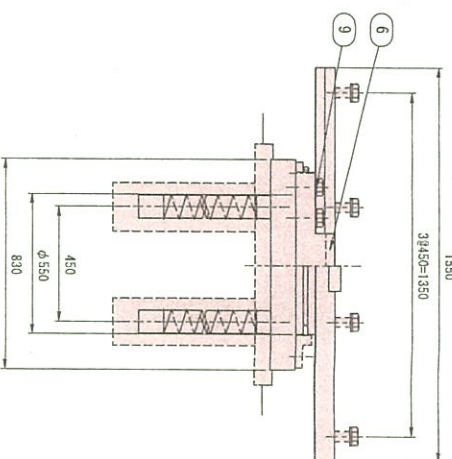
$S=1:10$


$$S=1:15$$

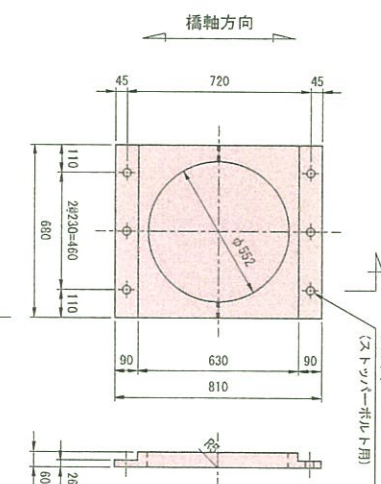
材料表 (1組当り)

21

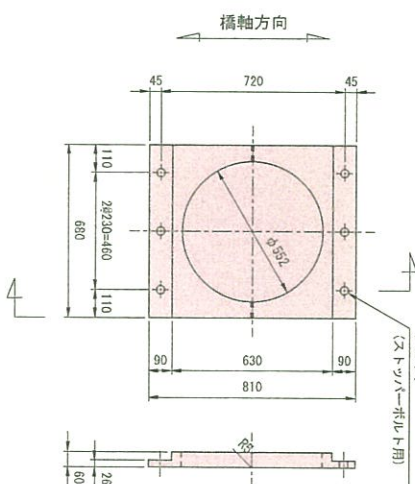
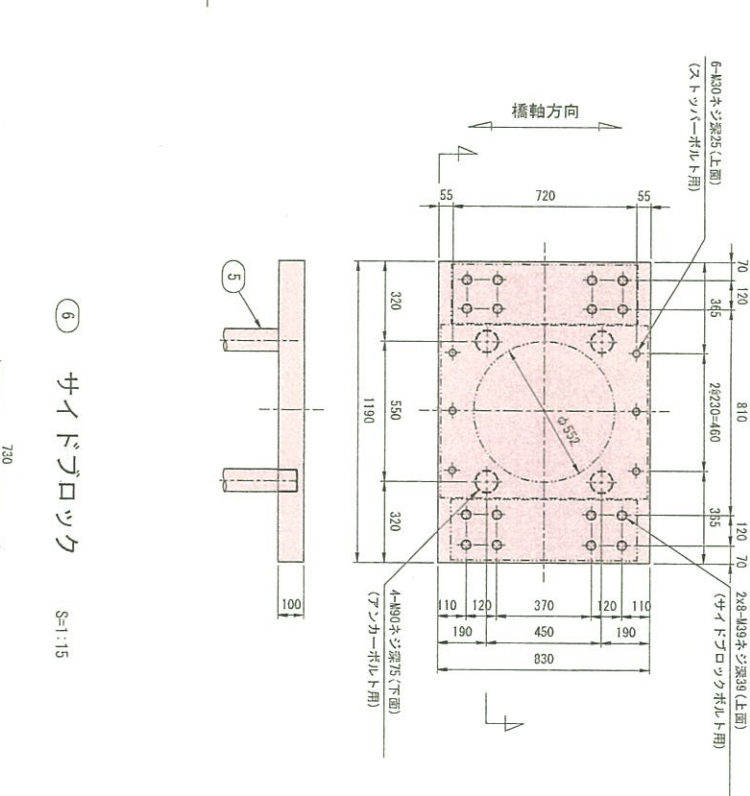
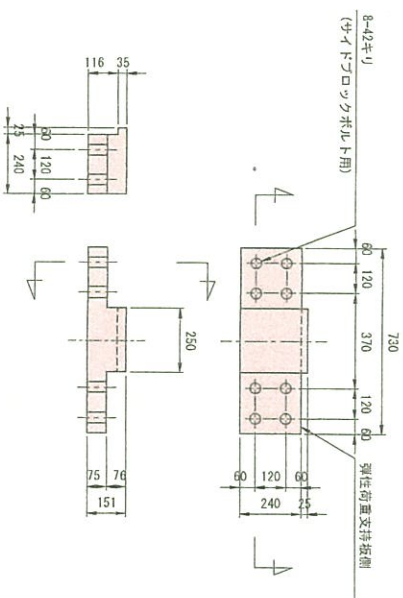
S=1:15



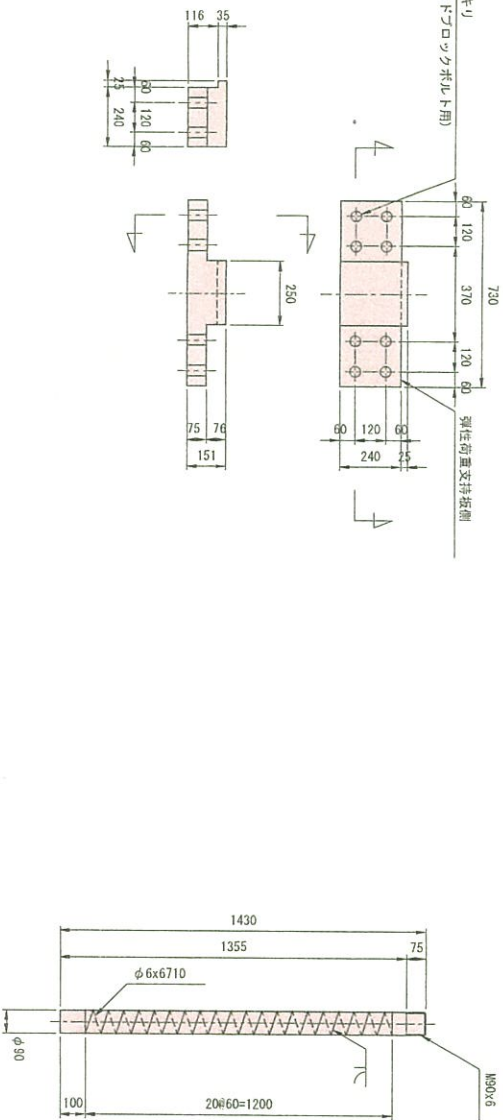
S=1:15

 $S=1:15$ 

S=1:15

 $S=1:15$  $S=1:15$ 

S=1:15



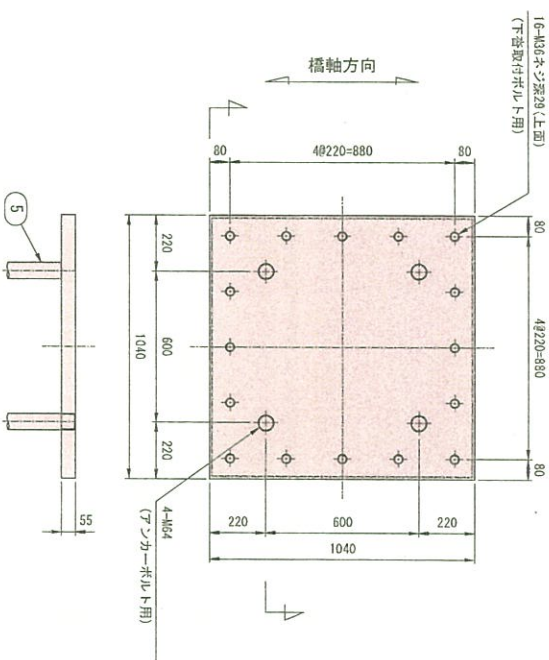
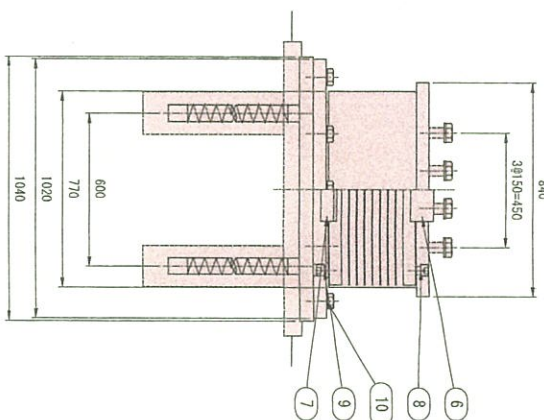
1

P8

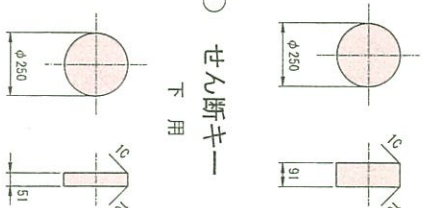
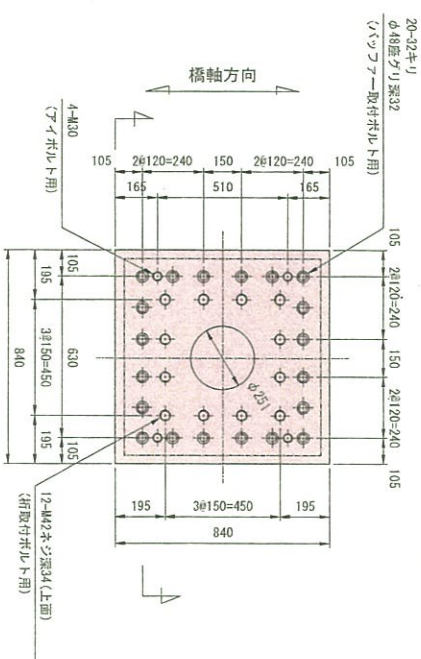
④ プラスプレート

S=1:15

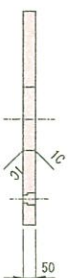
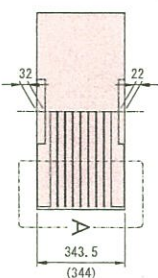
側面図 $S=1:15$
(橋軸方向)



② ソールプレート S=1:15



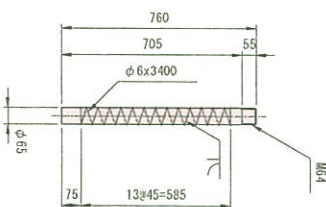
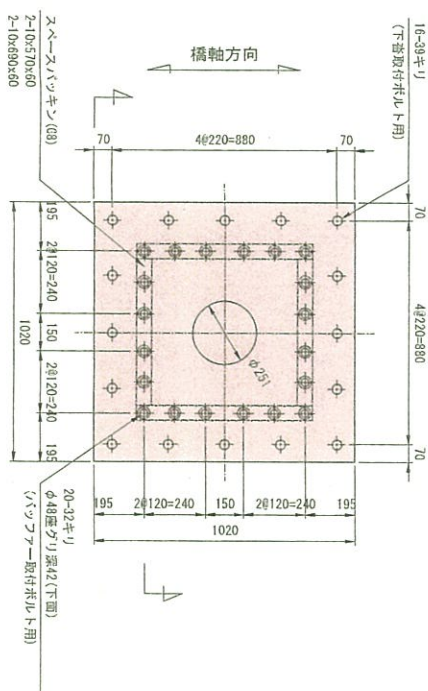
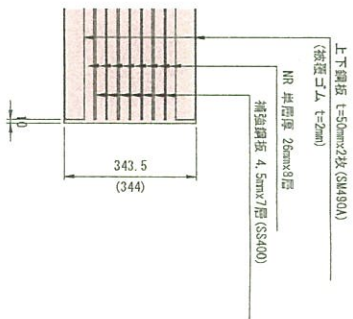
⑦ せん断キー S=1:15



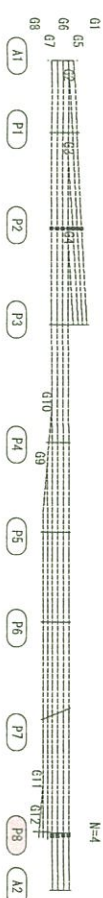
③ 下 昏 $S=1:15$



A部詳図 S=1:10



作圖



实施设计

[illegible]

條件設置

反力 (kN)		98
最大水平力	橋樑方向	Rlnet1 15.81
	橋樑垂直方向	Rlnet2 -
上向き地震力		Ru -53
変位量 (mm)		
水平変位量	常時・橋樑方向	ΔL1 10
	地震時・橋樑方向	ΔLe1 47
	地震時・橋樑垂直方向	ΔLe2 -
性能		
ゴムの種類及び呼び		材料:G NR-617
せん断ばね定数 (kN/mm)	せん断ひずみ (%)	KS 3.24 γS 17
	変位量 (mm)	UB 36
1次形状係数		51 7.21
2次形状係数		52 3.61

表 材料 (1組当り)

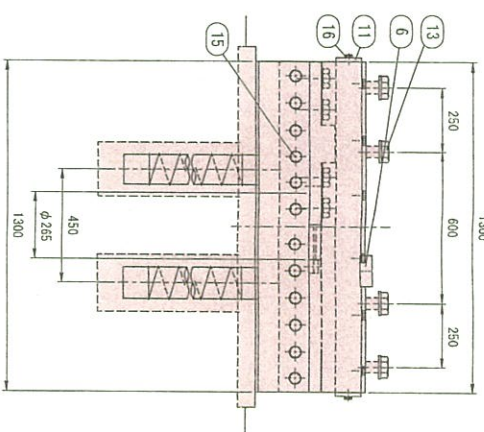
[illegible]

- ※1 連続表示処理装置
- ※2 使用材料は塩酸精製系炭素電極2.91に適合。
- ※3 飾着をOで囲んだ部品は標準品扱いとするとする。
JIS H 6641 H2.55、ボルトノ類はH2.35とする。
Zn-AN系合金の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※4 Zn-AN系合金の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要なZn-ボルトノ穴は適宜設けること。
- ※6 必要なZn-ボルトノ穴は適宜設けること。
- ※7 Zn-ボルトノ穴は用済み板穴埋めすること。
- ※8 指付けボルトノ重量は100mmとて参考値とする。
- ※9 六角穴付ボルトは、黒色酸化皮膜処理とする。
- ※10 口部品はBPR-21 (Zn-AN-Zn-ANシタ合被膜) とする。

- | | | | | |
|----|--------------------|-----------|-----------|------|
| 8 | バックアーム取付ボルト (六角穴付) | M30 × 50 | 強度区分 10.9 | (上用) |
| 9 | バックアーム取付ボルト (六角穴付) | M30 × 50 | 強度区分 10.9 | (下用) |
| 10 | 下置取付ボルト, クラッチャー | M36 × 85 | 強度区分 8.8 | |
| 11 | 柵取付ボルト, クラッチャー | M42 × 100 | 強度区分 8.8 | |

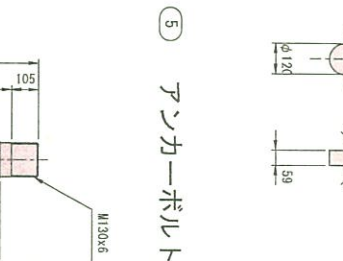
可動ゴム支承

側面圖 $S=1:15$
(橋軸方向)



S=1:15

上 用



アンカーボルト

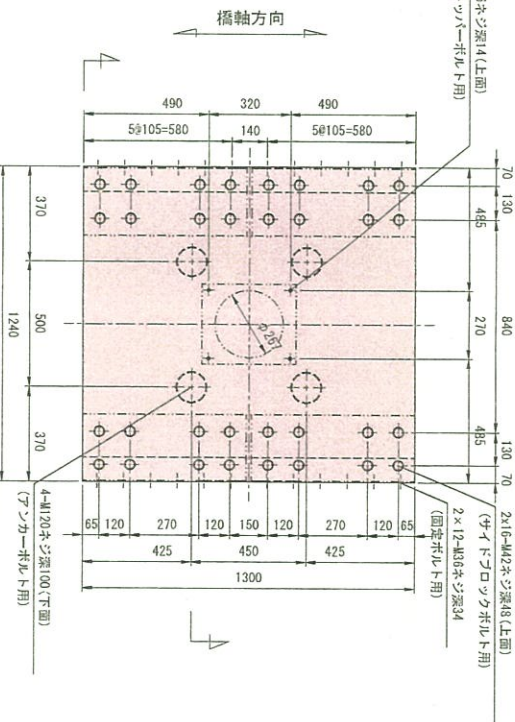
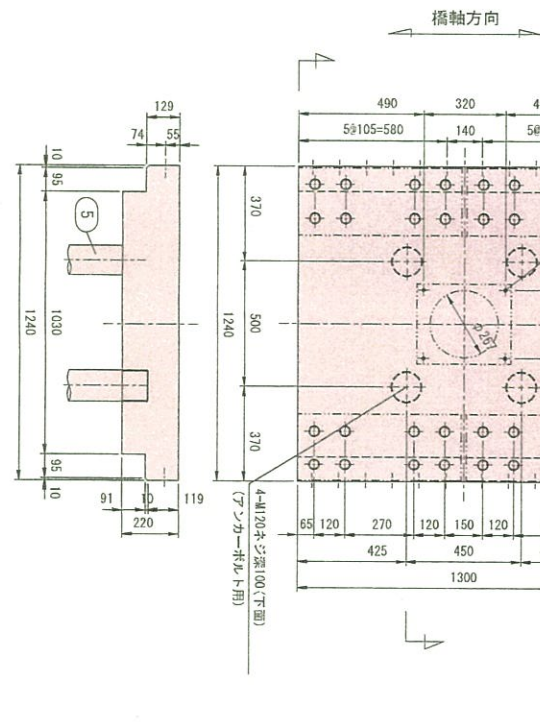
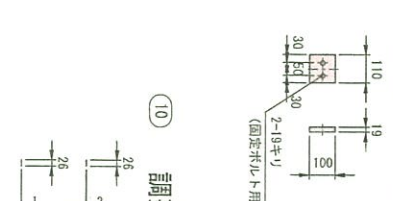


図 3 畚切水



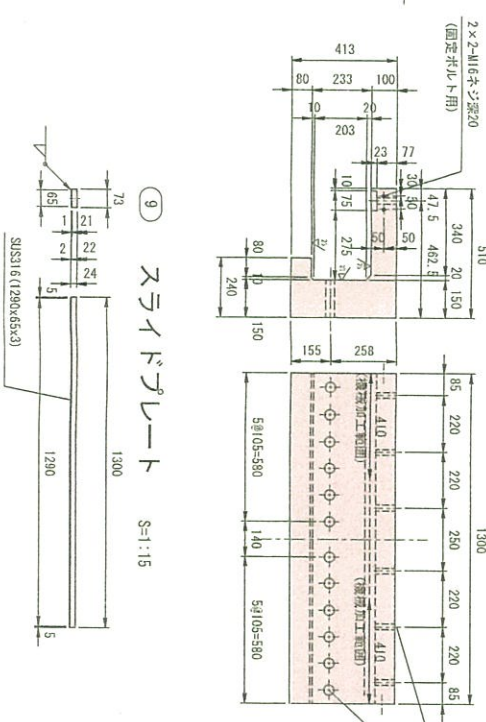
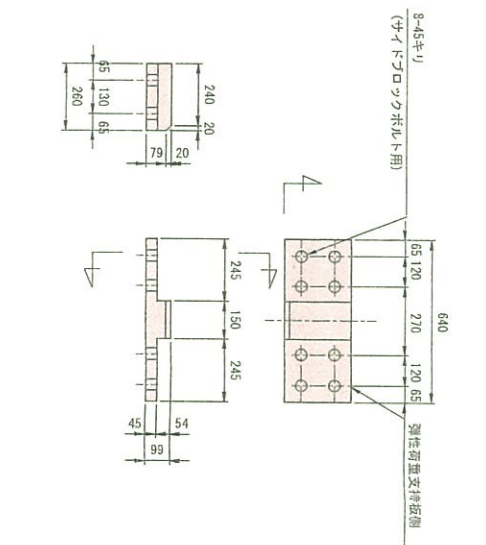
$S=1:15$



S=1:15



⑧ 上揚力止め



作圖

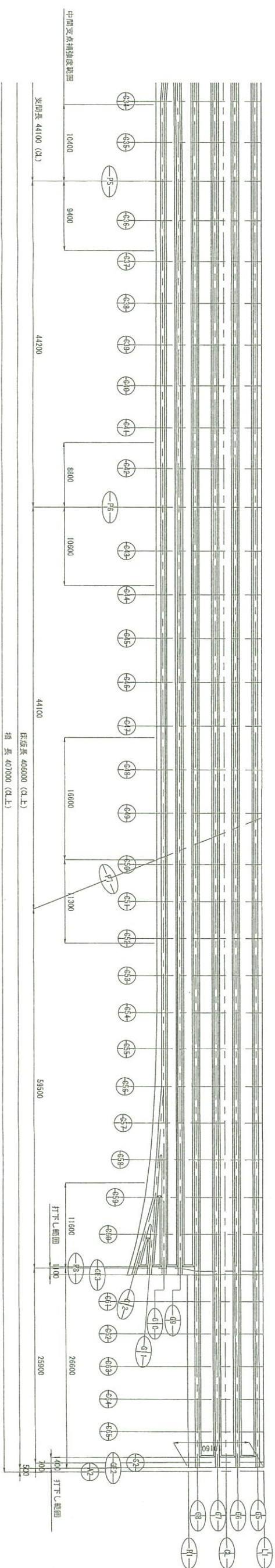
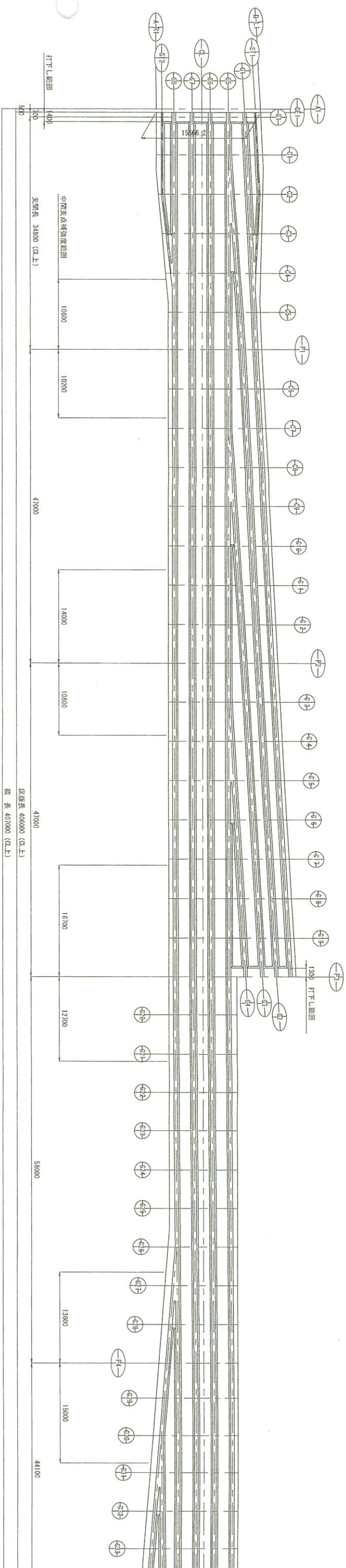
設計条件		A2	
反力 (kN)			
最大反力	Rmax		600
最大反力 (回転軸側用)	Rmax2		400
死荷重反力	RD		210
照査荷重	RL		195
最大水平力	回転方向	Rleat1	60
	回転垂直方向	Rleat2	2650
	サイトロップ	Rleat3	2650
上向き地震力	RIu		-3356
変位量 (mm)			
照査荷重時の変位量	δ_{RL}		0.542
回転変位量	δ_r		0.667
水平変位量	常時・回転方向	$\Delta L1$	171
	地震時・回転方向	$\Delta Lc1$	455
	地震時・回転垂直方向	$\Delta Lc2$	-
性能			
コムの増強及び呼び	材料・6		NF-610
圧縮ばね定数 (kN/mm)	K ₀		300
耐震変位量	せん断ひずみ (%)	γS	-
	変位量 (mm)	UB	-

鉛番号	製品名称	材質	個数	重量(kg)	備考
1	別注荷重支持板	NR, SS400, PTFE	1	14.0	NR(天然ゴム)
(2)	スライディングプレート	SM490A, SUS316, PTFE	1	972.6	
(3)	ベースプレート	SM490A	1	2530.1	
4	ストップバー	SM490A or SCH480N	1	16.1	
5	フックプレート	S355NL, SP235	4	833.8	
6	せん断キー	SM490A or S355N	2	10.5	上 用
(7)	サイドブロック	SM490A or SCH480N	4	282.3	
(8)	上掛け止め	SCH480N	2	2044.8	
9	スライドプレート	SM490A, SUS316	2	35.5	
(10)	調整プレート	SUS316	一式	3.2 ± 0.8枚, 11枚	
(11)	固定プレート	SM490A	4	5.8	
(12)	ストップバーホルダ, ロックシヤ	強度区分 8.8	4	0.3	
(13)	桁梁付ホルダ, ロックシヤ	強度区分 10.9	8	21.3	
(14)	サイドブロックホルダ, ロックシヤ	強度区分 10.9	32	60.0	
(15)	上掛け固定ホルダ, ロックシヤ	強度区分 10.9	24	47.6	
(16)	固定ホルダ, ロックシヤ	強度区分 8.8	8	0.7	
(17)	予備圧縮用ホルダ	強度区分 10.9	12	5.1	
(18)	予備圧縮穴あけホルダ, ロックシヤ	強度区分 4.8	12	2.2	
	アイソホルダ	S355N	4	-	442
合計				6885.9 (kg)	

- ※1 通気性表示便覧準拠。
- ※2 使用材料は道路橋支保簡規格J29に適合。
- ※3 部材をOで囲んだ部材は消滅部材のこととする。
JIS H 8841 H0255、ホルト鋼はH0235とする。
- ※4 3人作業の重量は施工上の参考重量を示す。
- ※5 製作・施工に必要な施工上の参考重量のこと。
- ※6 必要時アイボルト本数は図様に決定すること。
- ※7 アイボルト穴は用済み穴代埋めのこと。
- ※8 折取部ホルト重量は $t=100\text{mm}$ として参考で計上する。
口部品は 90mm （74- πR 、74- πR 、S混合部材）とする。
- ※9
- (12) ストッパーホルト、ワッシャー
- (13) 折取付ボルト、ワッシャー
- (14) サイードロツタホルト、ワッシャー
- (15) 上横材固定ボルト、ワッシャー
- (16) 固定ボルト、ワッシャー
- (17) 予備圧縮用ボルト
- (18) 予備圧縮穴埋めボルト、ワッシャー

設計實施

平成 31年度 工事番号 第19-41320-0047号					
立寄図面番	(A) 口付	(B)	(C)	令字指定品目	
M		N	P		
道路橋りょう設備(等)工事(標準上欄)					
受発(その2)					
約尺	図号	取組番号	31年	4期	
鉄筋		工費	元	日	
		材料費			
設計	株式会社 住友建設事務所	年月日	算得	数量	資材名称
	(工事No.1320-0047)				
福島県中道役所所有					

$S=1:300$ 

施設設計

平成 31年度 工事番号 第19-41320-001号					
立寄道路名	(A) ① B	区切	(A) ② C	水門	(A) ③ D 4.4m x 2.0m
道路幅員より上り段差(河渡)工事(工事仕様度上部)					
既設段差図					
約尺	1 : 200	段差番号		303 / 498	
経緯		起 止 点	工 程		
設計者社	株式会社 北乃田建設事務所	起 止 点	区画番号	東 界	南 界
設計				西 界	北 界
福島県道中建設事務所					